
和田里づくり計画

「生きがい」と「くつろぎ」を与える

アズの里, 和田



平成 14 年 3 月

和田里づくり協議会

和田里づくり計画

「生きがい」と「くつろぎ」を与える

アンスの里，和田

1. 集落の概要	1
1) 人口等の状況	2
2) 水田利用状況	3
3) 旧所・名跡	4
4) タコノアシ	8
2. 里づくり計画策定経過	9
3. 集落の現況	11
1) 土地利用の現況	11
2) 道路状況	12
3) 地域点検マップ	13
4. 里づくり計画	14
1) 整備の目標および方針	14
2) 農業振興計画	16
3) 環境整備計画	17
4) 土地利用計画	22
＜参考＞	
1. 里づくり協議会委員名簿	24
2. 里づくり協議会規約	25
3. 第1回アンケート調査結果	28
4. 第2回アンケート調査結果	39

1. 集落の概要

押部谷町和田は、押部谷町の最も南西に位置し、北西は神出町南、北は神出町東、南は平野町黒田及び堅田、東は押部谷町高和及び養田に隣接している。

地区の東部には明石川が南北に流れ、明石川に沿って県道平野三木線が通っている。地区の北部には市道神戸母里線が東西に通り、西は神出町田井、東は西神工業団地を抜けて樋谷町福谷まで通じている。

西部は神出町から続く里山で、豊かな自然環境が残り、里山と河川の間平野部に集落が開けている。集落の背後の小高い山すそにも農地が広がっている。

神戸母里線より北側は、生コンプラント工場や資材置場が多数立地している。

最寄り駅は市営地下鉄西神中央駅で、西神ニュータウン行きの路線バスはないが、車で約5分である。

昭和52年には場整備、昭和61年には集落下水が完成し、平成8年に公会堂が新築されるなど、営農環境や生活環境の基盤が整備されている。

地区内には清水寺、大歳神社、若宮神社などの神社仏閣があり、古くから村の守り神として崇め祭られている。



1) 人口等の状況

項目 \ 年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
総世帯数 (戸)	57	58	53	59	56
農家数 (戸)	41	38	38	38	36
専門農家	7	3	4	7	6
第1種兼業農家	10	8	10	7	6
第2種兼業農家	24	27	24	24	24
総人口 (人)	251	235	216	221	※※ 215
男	124	116	107	107	105
女	127	119	109	114	110
農家人口 (人)	204	180	168	159	150
男	103	92	84	77	70
女	101	88	84	82	80
農地面積 (a)	3,033	3,141	3,277	3,162	3,189
田	3,033	3,137	3,184	3,130	2,915
畑	—	4	85	31	28
樹園地	—	—	8	1	246

※農林業センサスより

※※2000年センサスは速報

2) 水田利用状況

品目		面積(a)	備考
水 稲	どんとこい	521.6	(35.2%)
	きぬひかり	359.8	(24.3%)
	こしひかり	262.8	(17.8%)
	日本晴	224.7	(15.2%)
	ひのひかり	111.0	(7.5%)
	計	1,479.9	(100%)
生 産 調 整	スイカ	127.4	
	ネギ	79.8	
	ツケナ	68.8	
	ナス	65.4	
	カボチャ	50.1	
	その他野菜	43.2	
	ブロッコリー	29.0	
	サツマイモ	28.5	
	キャベツ	24.6	
	種苗類	13.1	
	その他	31.9	大豆, カキ, タイコン, 特作, 未成熟 トモロコシ, キウイフルーツ
	定着(果樹)	10.1	
	地力ソルガム	222.4	
	地力レンゲ	41.8	
	景観コスモス	27.5	
	自己保全管理	338.0	
	調整水田	110.6	
かい廃	2.5		
計	1,314.7	実施転作率 47.0%	
水田面積計		2,794.6	

※平成13年度転作野帳より

3) 旧所・名跡

① 白瀧山清水寺（観音堂）

「清水（せいすい）寺」は、背後の観音山に建っており、「キヨミズさん」とか「和田の観音さん」の名で親しまれている。観音堂は三十三段ある石段を上った正面に建っている。

西国那智山青岸渡寺で始まる西国三十三ヶ所巡礼は、必死の旅であったために、各地にミニ巡礼が生まれた。明石西国もその一つで、江戸時代の貞享2年（1685）7月、八代明石城主松平直明公の世になり、明石藩三十三ヶ所として始まった観音堂霊場めぐりのことで、三百余年の歴史を持っている。

太平洋戦争までは多くの善男善女が巡礼したが、昭和20年の大空襲で多くの寺院が焼失した。しかし昭和60年に復活し、長福寺が新第15番札所として加入し、朱印状は長福寺（押部谷町養田）が受け持つに至っている。

また、大正10年4月に設立された明石郡四国八十八ヶ所の46番の寺でもある。

和田観音堂は、当時和田在中で下押部担当の住吉神社の神主であった森岡丹後守が設定に深くかかわった。元禄7年現在の本尊、如意輪観音と不動明王、毘沙門天像が完成、この像は神出仏師の作である。

本尊の上に掛かる絵馬は、藤原氏五与太夫が諸願成就のため寄進したもので、正徳5年（1715）8月吉日作の絵馬で、二頭の馬が松と竹につながれている様子が描かれており、清水寺の宝である。脇の弘法大師像は、大正10年明石郡八十八ヶ所設定の際に制作したものである。境内には江戸中期の享保20年の石灯籠と、江戸後期の文化2年に造られた石段とがある。



詠歌 白瀧の山の
松風音添えて
清水寺や
涼しかるらん

<参考>

1994年11月
藤本美明書

② 大歳神社

和田集落の氏神である。祭礼は毎年1月15日に行われる。大歳神が祀られており、室町時代末期の永禄3年(1560)に創建された。大歳神が村を拓いた神様との伝承をもっている。

江戸時代には大歳宮といい、藁葺きの上仮屋が建っていた。



③ 薬師堂

おやくしさんの名で親しまれており、8月6日薬師講の講中が祭礼を行っている。

堂の左手には、自然石が地藏にはさまれ祀られており、いやなイボをとってくれる地藏さんとして信仰が厚い。イボとり地藏さんの名で親しまれている。



④ 若宮神社

若宮さんの名で親しまれており、4月16日若宮講の講中が祭礼を行っている。

祭礼の日には伝統行事として小学生の神相撲が続けられている。



⑤ 祇園神社

祇園さんの名で親しまれており、7月7日祇園講の講中が祭礼を行っている。

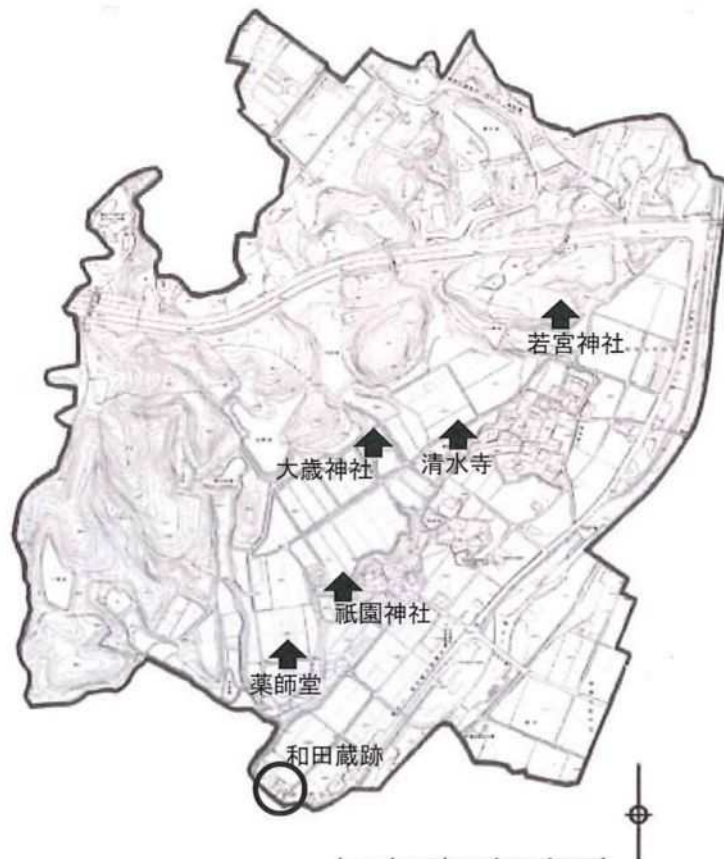
祭礼の日には、小学生の神相撲が行われている。



⑥ 御米蔵跡（和田蔵）

「和田蔵」は、明石領内の旧美囊郡より城へ納める年貢米を一時的に保管しておく倉庫のことで、明石城勘定奉行が支配していた。和田のお蔵と言われ、「おくら」の名を今に残している。

明治の初期、高和小学校の前身である和田小学校が「おくら」で開校されていた。



⑦ 古民家

集落の中に茅葺、藁葺きなどの古民家が4軒現存している。非常に趣のある美しい農村風景をつくり出している。



参考図書

ふるさと押部谷

西区ふるさと自慢百選

4) タコノアシ

絶滅に瀕した植物であるが、数年前、和田で生存が確認されている。繁殖の方法が分かれば和田で栽培して増やしたい。

タコノアシ

学名：*Penthorum chinense Pursh*

ユキノシタ科（ベンケイソウ科）

本州から四国，九州の湿地，湖沼，河川敷などに自生する多年草です。近年，開発によりその数は次第に減少し，レッドデータブックの絶滅危急種に指定されています。

草丈は 30～80 cmほどになり，8～10月の花期には枝分かれした長さ 4～12cm ほどの花枝に小さな花が並んで付きます。実が熟すと，その姿が吸盤のついたタコの足を逆さまに広げたように見えることからこの名前が付けられました。

以前はベンケイソウ科とされていたのですが，近年はユキノシタ科とする方が適當ではないかと言われています。また，独自のタコノアシ科を設けるべきだという説もあり，これからの研究が待たれるところです。



2. 里づくり計画策定経過

地区の概要を把握するため、一般調査アンケートを実施した。

次に、いくつかのポイントとなる項目について、再度詳細な自由アンケートを実施した。

現地調査は、委員が2班に分かれて集落内を見て歩き、地域の点検を行った。

座談会は婦人会、子ども会、老人会の組織ごとに実施し、集落の将来のあり方についてそれぞれの意見を出し合った。自然環境保全と開発との調和や外部から訪れる人たちのマナー問題、神社仏閣など史跡の保存、荒れた農地の保全策などが話題となった。

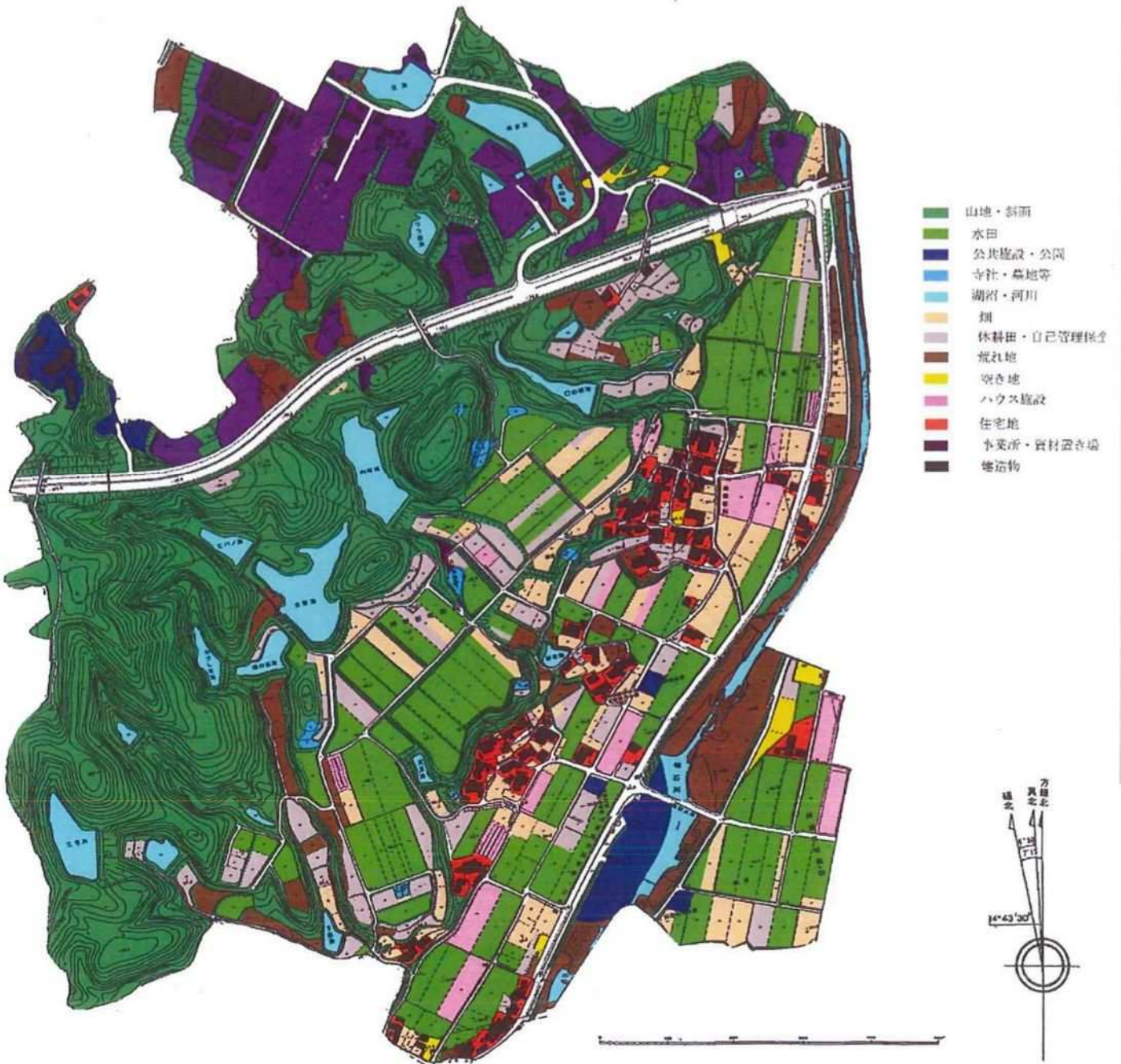
また、地域の特産品開発が地域の活性化であり、時間に自由のある高齢者などが趣味の活動としてグループを組織し、取り組むこととなった。そして、この組織の活動内容について協議を重ねた。

日時	会議名	出席者	協議内容
13年5～6月	一般調査アンケート	回収51人	
7月3日	里づくり委員会	委員 西農政事務所	一般アンケート結果の報告 里づくりの進め方について
7～8月	項目別詳細アンケート	回収51人	
8月30日	里づくり委員会	委員 神戸大学、西農政	項目別詳細アンケート結果の報告
10月8日	現地調査	委員 神戸大学、西農政	点検マップ作成 班別発表
〃	子ども会・婦人会 合同座談会	婦人会、子ども会 25人、神戸大学、 西農政事務所	要望等聞き取り
〃	里づくり委員会	委員 神戸大学、西農政	座談会の報告
10月22日	高齢者座談会	老人会会長他16人 神戸大学、西農政	要望等聞き取り
11月13日	里づくり委員会	委員 神戸大学、西農政	座談会まとめの報告と内容検討 今後の進め方(シルバー農業について)
12月4日	シルバー農業の会	委員 神戸大学、西農政	シルバー農業の会の活動内容について
14年1月16日	里づくり委員会	委員 神戸大学、西農政	シルバー農業の会の活動内容について 里づくり計画(案)について
2月15日	里づくり委員会	委員、普及センター 神戸大学、西農政	シルバー農業の会の活動内容について 里づくり計画(案)について
3月6日	里づくり委員会	委員、普及センター 神戸大学、西農政	里づくり計画(案)について

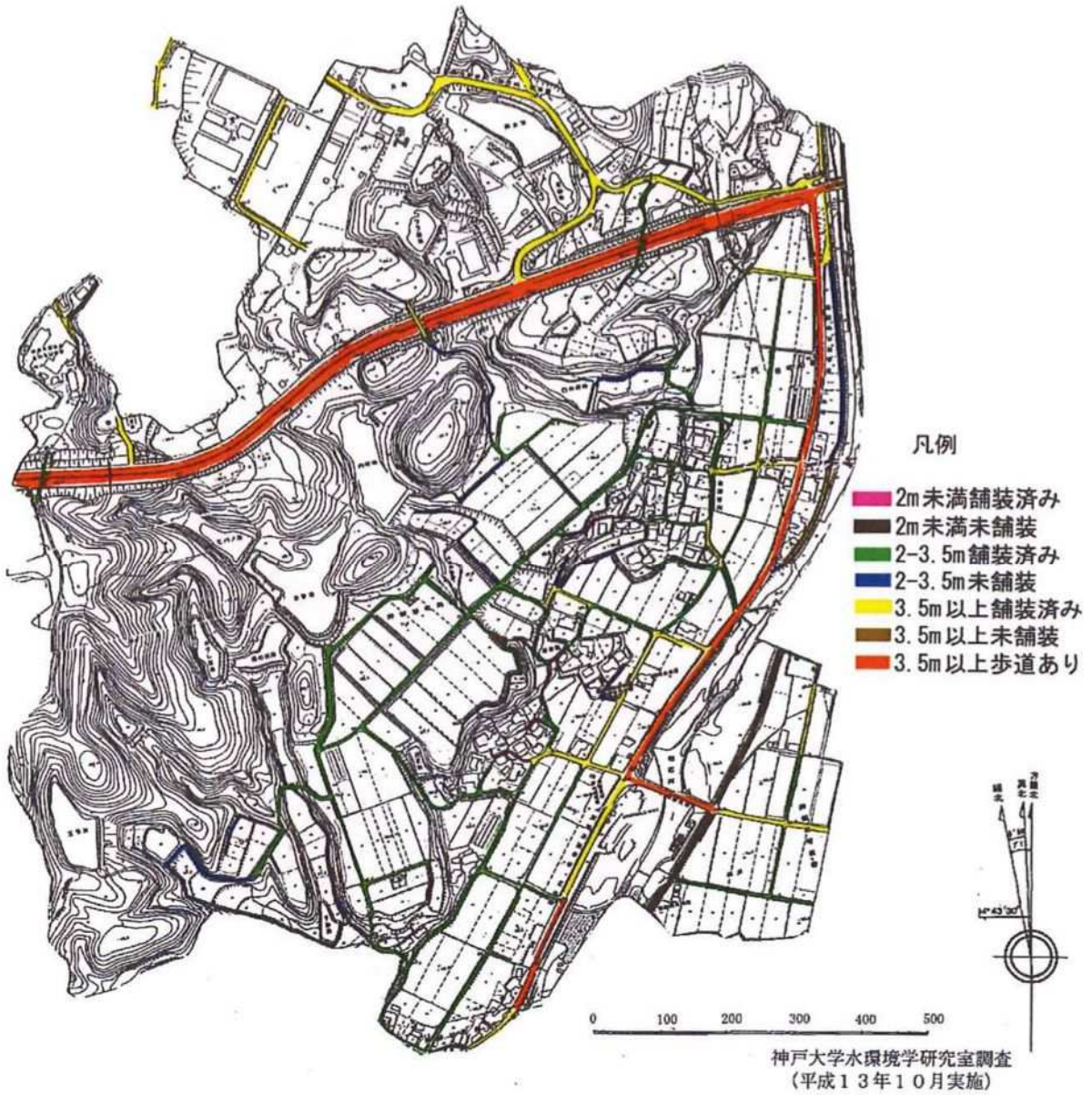


3. 集落の現況

1) 土地利用の現況



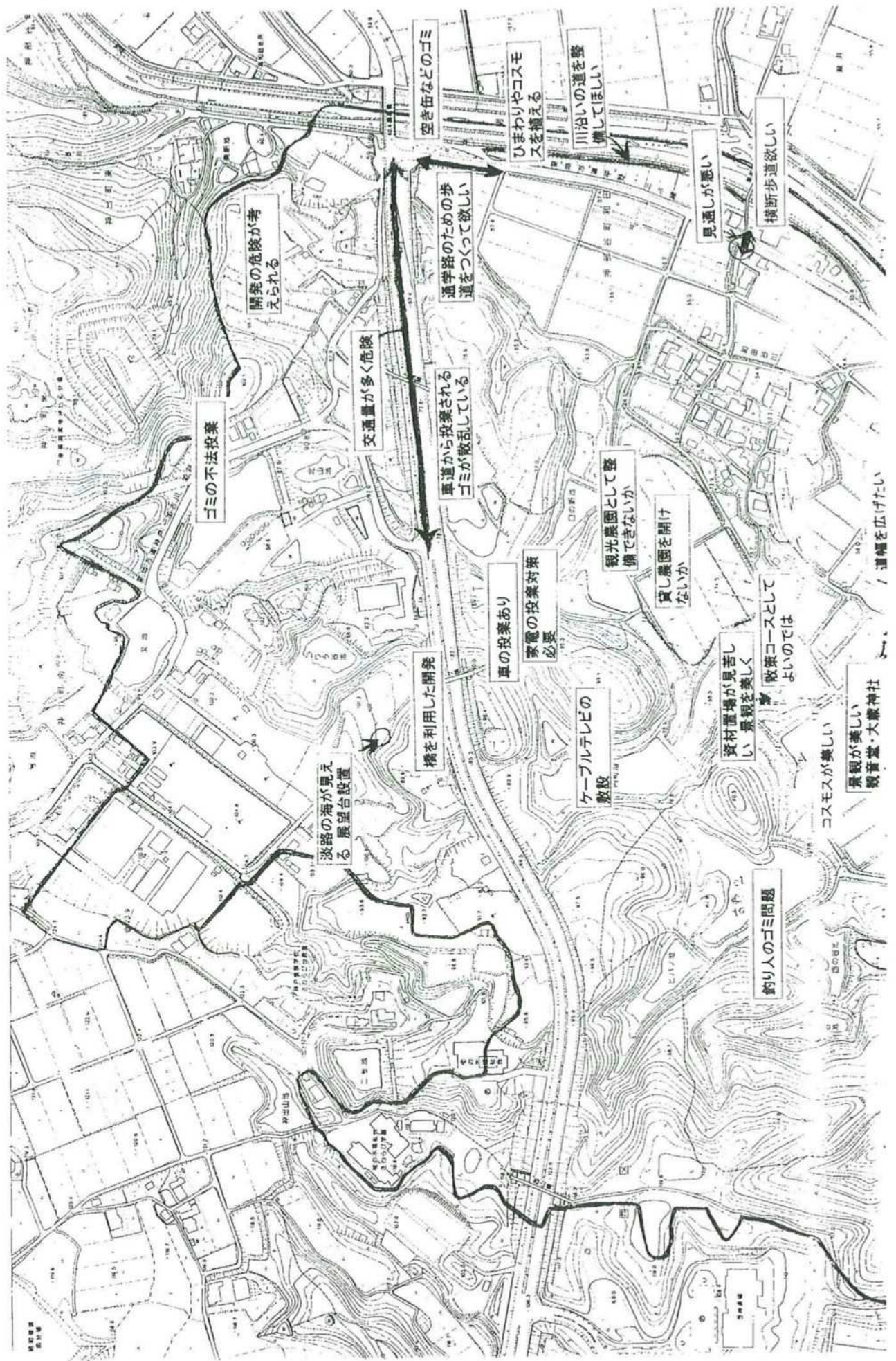
2) 道路状況

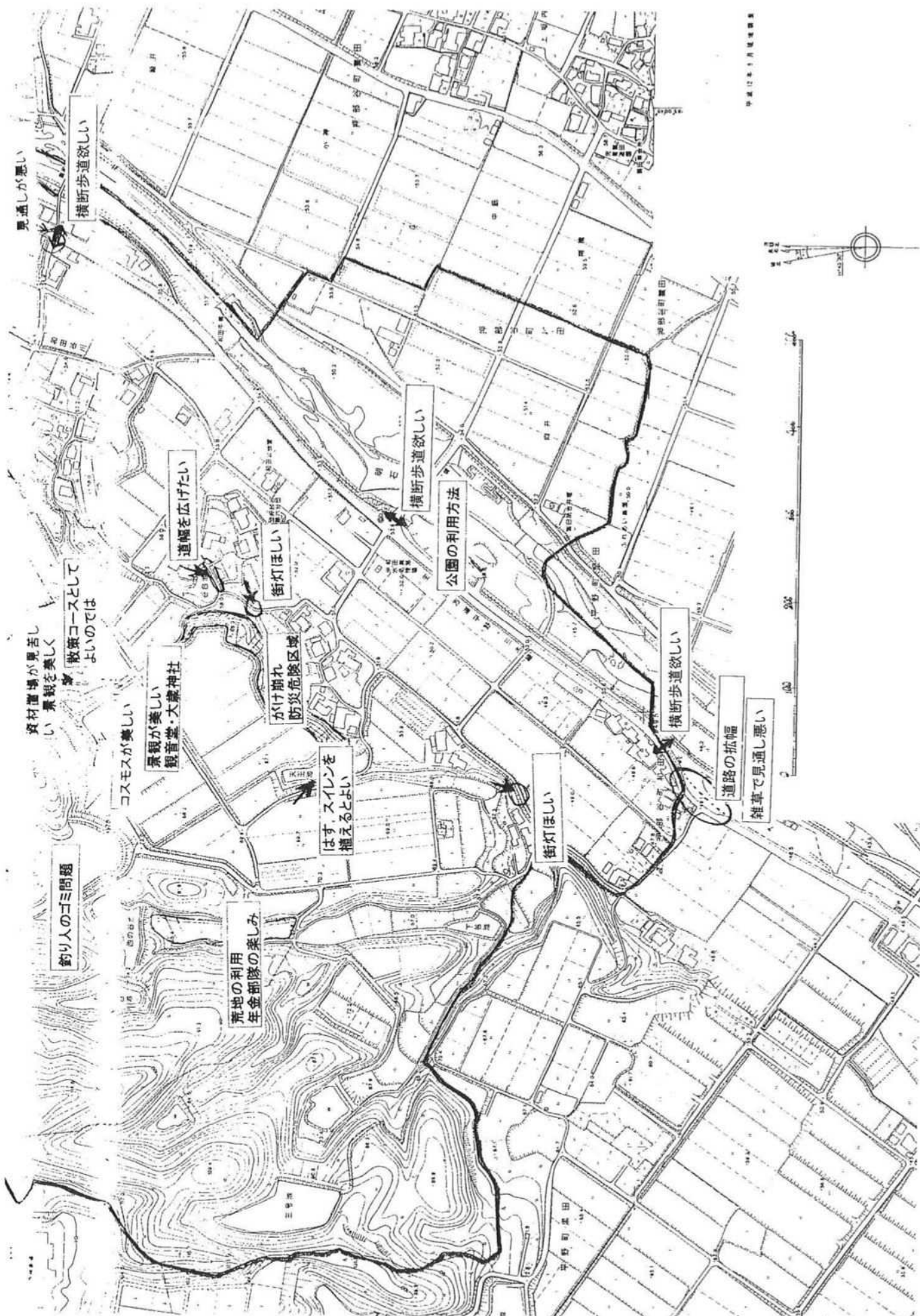


3) 地域点検マップ

次ページ

押部谷町和田地域点検マップ





4. 里づくり計画

1) 整備の目標および方針

キャッチフレーズ

「生きがい」と「くつろぎ」を与える アンズの里、和田

当集落は、ほ場整備が完了し、農業のための営農環境が整えられ、また、地理的立地条件も良いことから、生活環境の利便性などについては問題の少ない恵まれた地域である。しかしながら、今後、兼業化や高齢化による農業従事者の減少などにより、農地の荒廃が心配されることから、荒地や休耕田の利用方法について検討する必要がある。また、生活環境についても、横断歩道や街灯の設置が十分でないといった交通安全施設の整備状況や、集落内にある河川敷の公園やため池などにおいて、地区外から訪れる利用者のマナーが悪いといった問題がある。そこで、当集落では、

- ① 休耕地や荒地の有効利用
- ② 子供からお年寄りまで安心して過ごせる生活環境の創出
- ③ 世代間コミュニケーションの促進

といった3点を重点目標とし、これらの目標を達成するために、①シルバー農業、②市民農園、③散策道・サイクリングコース、④ふれあい公園といった4つの項目を柱とした計画とする。以下に、それらの項目について述べ、和田里づくり計画の体系及び計画図を示す。

シルバー農業

実年農業者や時間にゆとりのある人が、趣味と実益を兼ねて農作物栽培に取り組む。事業内容は、アンズ園、芋掘り園、花摘み園などとし、集落の荒地や休耕田を活用することでそれらの有効利用を図る。集落住民の誰もがこの事業に参加できることとし、集落内のコミュニケーションの促進を図る。また、将来的には、シルバー農業の栽培作物を集落の特産品へとつなげる。

市民農園

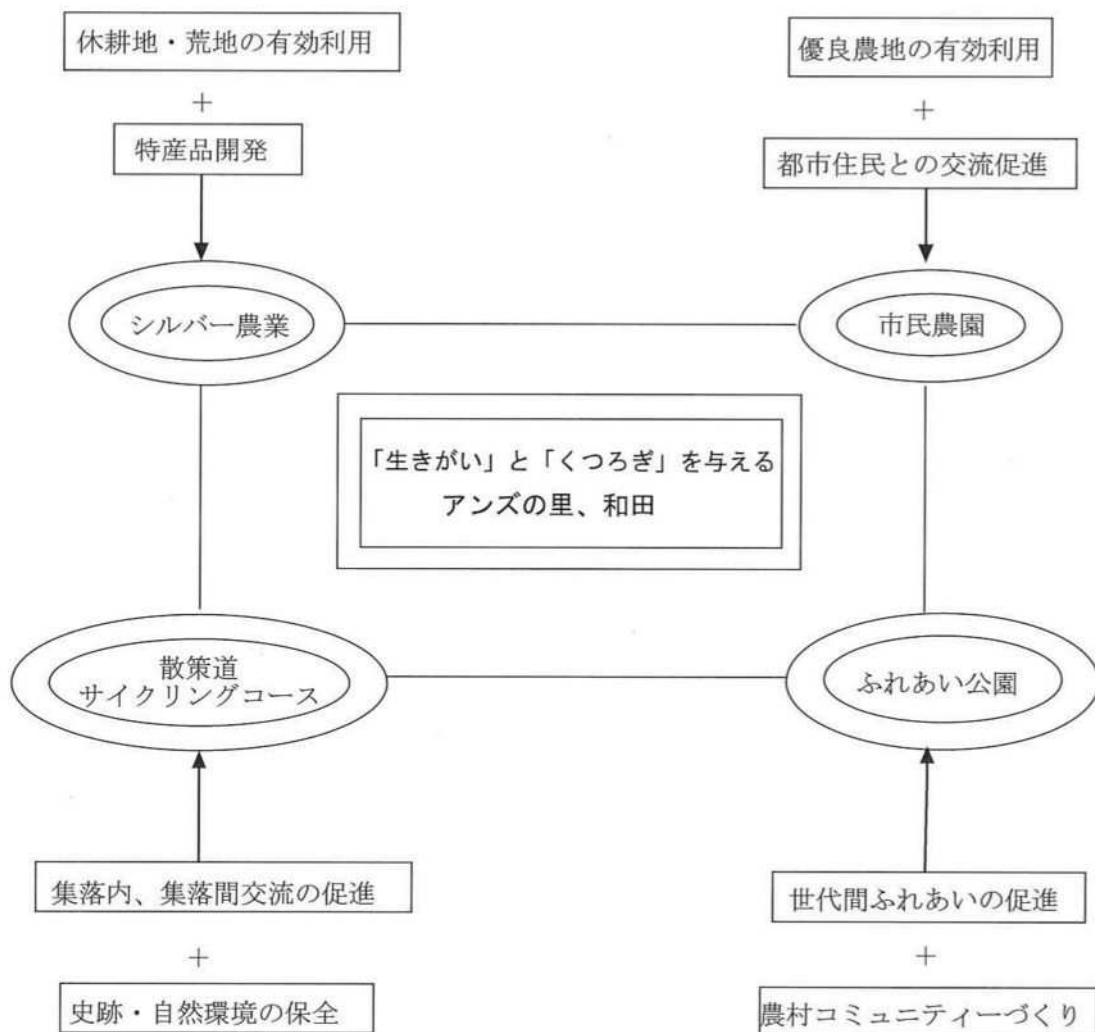
市民農園を開設し、農地の保全を図るとともに、都市住民に農業を体験できる場を提供する。また、農業体験を通じて農村の文化や農業の重要性を都市住民に理解してもらう。

散策道・サイクリングコース

集落内各所に散在する史跡や美しい景観を持つ場所に、散策道・サイクリングコースを設定する。コース沿いには、簡単な看板を設置するなどして、集落の文化や歴史を知ってもらうとともに、当集落の花としてアンズやタコノアシなどを植栽し、集落内、集落外の人々が、余暇や自然観察の場として利用できるようにする。

ふれあい公園

子供から老人までが安全に利用できるふれあい公園を整備する。公園には、先祖を祭るシキビや榊などを栽培したり、高齢者が子供たちに藁細工を教えたりできる施設の併設により、世代間のふれあいの促進を図り、伝統文化を継承できるものとする。



和田里づくり計画の体系

2) 農業振興計画

① シルバー農業の推進

実年農業者や時間にゆとりのある人が、和田の特産品となる農作物栽培に取り組むグループを組織し、趣味と実益を兼ねて活動を行う。趣味のサークルとして、集落住民の誰もがこの事業に参加可能とし、収入があれば、親睦費などに活用する。休耕田を活用して栽培し、集落の特産品開発や観光農業などを研究する。

ア) アンズ栽培

アンズは、春先の早い時期に美しい花を咲かせる。果実は生食用のほかジャムなどに加工できるので、和田の特産品として栽培する。

イ) 芋ほり園

サツマイモを栽培して、小学生や西神ニュータウンの人々に収穫を楽しんでもらう。

ウ) 花摘み園

コスモスやポピーなど、花を栽培して訪れる人に花摘みをしてもらう。

② 市民農園の開設

休耕地に市民農園を開設し、農地の保全を図るとともに、都市住民に農業を体験できる場を提供する。農業体験を通じて、農村の文化や農業の重要性を都市住民に理解してもらうことができる。

開園にあたっては、市民農園整備促進法を活用して、駐車場や簡易トイレなどの設備を設け、受け入れ態勢を十分整えた上で行う。利用者には農園の利用規則を守ってもらうほか、集落の秩序を乱さないよう十分納得した上で入園してもらう。

③ 園芸作物の振興

軟弱野菜やナス、トマトが地場野菜として栽培されている。

JA が推進しているハウスのリース事業を利用するなど、施設化を進め、野菜の生産振興を図る。

④ ハートショップの活用

JA が実施している直売のハートショップは、新鮮な野菜を提供することで、周辺の団地住民に好評を得ている。このシステムでは、専業農家だけでなく兼業農家や定年帰農者などが生産する趣味の延長的な農産物も販売でき、収入は意外に多い。直売のシステムを積極的に活用し、農業収入のアップを図る。

⑤ 直売所

県道沿いなど交通量の多い場所に、小さな直売所を設けて「和田の駅」とする。

直売所では、地域で生産された米や野菜、果実など和田の特産品を販売していく。ハートショップとともに、消費者ニーズをつかむアンテナとして、消費者と直接つながる手段として有効に活用したい。

3) 環境整備計画

① 子供の公園

河川敷に和田清水広場があるものの、県道を横切らねばならないため、集落内に子供のための安全な公園を設置したい。設置場所は公会堂付近が適当と思われる。公園には遊具なども設置したい。

② 史跡の保存、整備

集落内には、多くの神社、仏閣等があり、古くから集落の守り神として祭られている。これらの史跡を大切に保存し、周辺の環境整備を図る。また、美しい景観を保つため、周囲には植栽を行う。史跡には案内板や説明板を設置し、歴史等を紹介する。

- ア) 白瀧山清水寺（観音堂）
- イ) 大歳神社
- ウ) 薬師堂
- エ) 若宮神社
- オ) 祇園神社
- カ) お蔵

③ 散策道、サイクリングコースの設定

集落内各所に散在する史跡や景観のよい場所をめぐる散策道・サイクリングコースを設定する。コース沿いに花を植え、散策を楽しめるようにする。

④ 花の植栽

ア) 休耕田の景観形成

市民農園、観光いもほり園の周辺や散策道・サイクリングコース沿いに花を植え、美しい景観をつくりだす。

そばは生育が早く、秋に美しい花を咲かせるので、景観形成作物として栽培する。

イ) 河川敷の植栽

河川敷の道路沿いにひまわりやコスモス、そばなどの花を植栽し、四季折々の花を楽しむ。

ウ) 花摘み園

休耕地に花を植え、訪れた人に花摘みをしてもらい、農業の副収入とする。

エ) 和田の花

アンズを和田の花として位置付け、集落内の各家庭や公共の空き地などに植えて花を咲かせる。

タコノアシは、絶滅に瀕した珍しい花で、数年前和田に生存が確認されている。この花も和田の花として保存していきたい。

⑤ 天王池のビオトープ化

天王池に蓮やスイレンを植えて花を楽しむ。水辺の生物が見られる場所とする。

⑥ ゴミ問題とマナー問題

西神ニュータウンに近いということもあり、市街地から集落内に訪れる人が多いが、ゴミを持ち帰らないだけでなく、農産物の盗難があるなど、マナーが非常に悪いことが問題となっている。

ア) 古野池などため池に訪れる釣り人

ため池に訪れる釣り人が、竿や釣り糸を放置したまま帰ったり、周辺にある田畑の農産物を取って帰ったりするなどの問題が発生している。

イ) 河川敷きの公園利用者

市民公園を使用した後、ゴミを放置したり、業者が犬を放すなどマナーが悪い。

ウ) 県道沿いを通過する車からのポイ捨て

和田大橋交差点付近など、通過する車からのポイ捨てが日常的に行われている。

エ) 粗大ゴミの不法投棄

山林に廃車や家電など大型の粗大ゴミを不法投棄される。

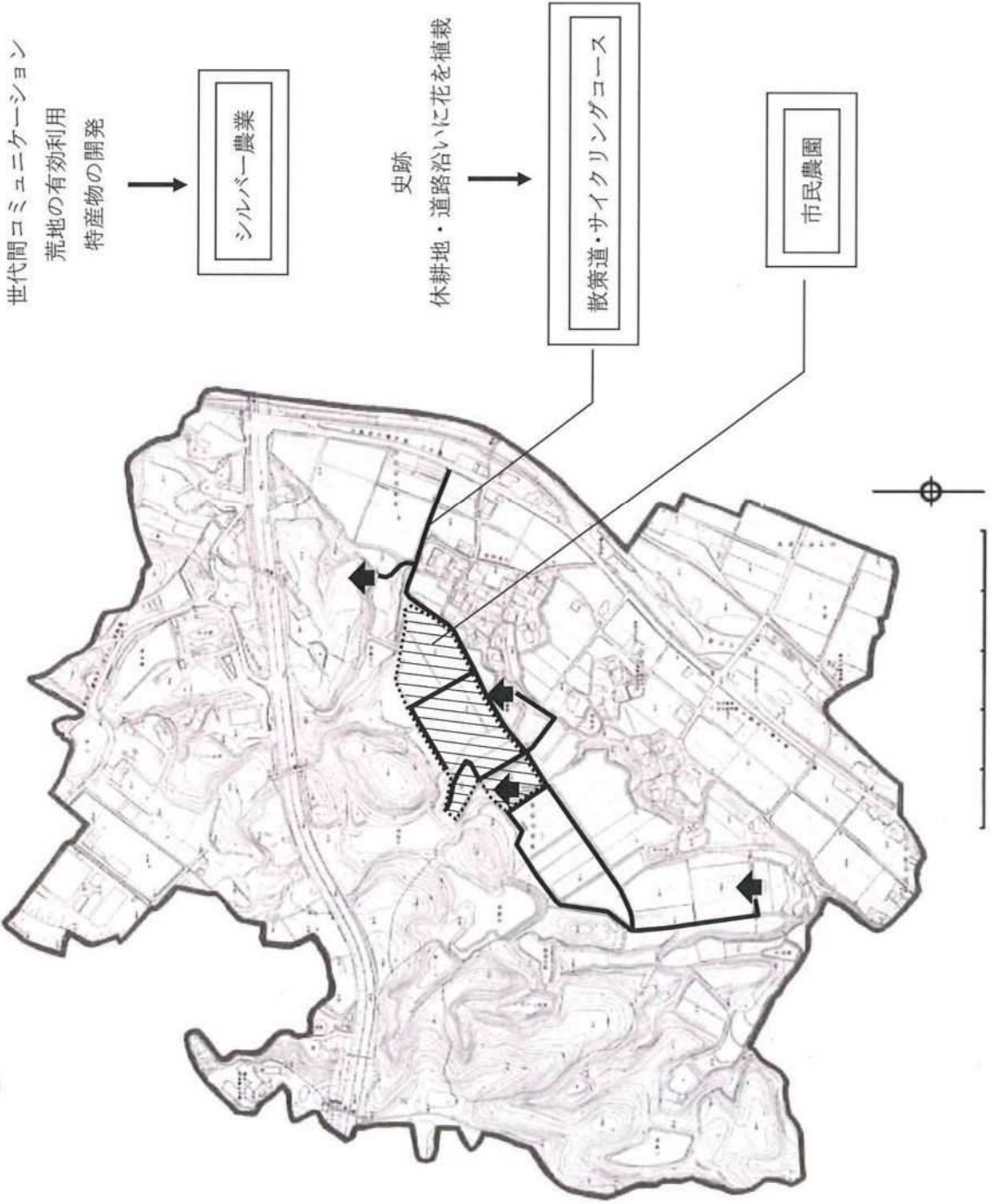
これらのゴミ問題に有効な対策を講じるのは難しいが、マナー向上を呼びかける啓発看板の設置や山林への進入防止柵の設置、周辺の環境美化などを行うことにより、投棄しにくい環境をつくり、ゴミの投棄を防止する。

公園やため池の利用者には、利用の心得を守るよう管理者から徹底を図る。

⑦ 犬の飼い主のマナーアップ

犬の散歩に訪れ、田の畦などに糞を残したまま帰る人が集落内にも見受けられるので、飼い主のマナーとして、糞は持ち帰るよう集落内でもマナーの徹底を図る。

和田里づくり計画図



⑧ 交通安全

ア) 通学路の歩道設置

藤原橋南の県道平野・三木線西側に歩道を設置し、通学路の安全確保を図る。

イ) 集落内道路の拡幅

集落内の道路の狭い場所を2ヶ所拡幅したい。

ウ) 見通しの悪い交差点

見通しの悪い交差点には、標識等を立て、運転者の注意を促す。

エ) 横断歩道設置

バス停付近および和田大橋交差点に横断歩道を設置したい。

⑨ 街路灯

夜間暗くて危険な箇所が2ヶ所あり、街路灯を設置したい。

⑩ バス路線開通の要望

西神ニュータウンの近くにありながら、西神中央まで出る路線バスがなく、一度明石駅まで出なければ行けないという不便さである。

西神中央へ出るバスの開通を、日に2-3便、小型でよいので要望する。

⑪ 老人ホーム等の施設誘致

山林を活用し、老人ホームなど福祉施設の誘致を検討する。

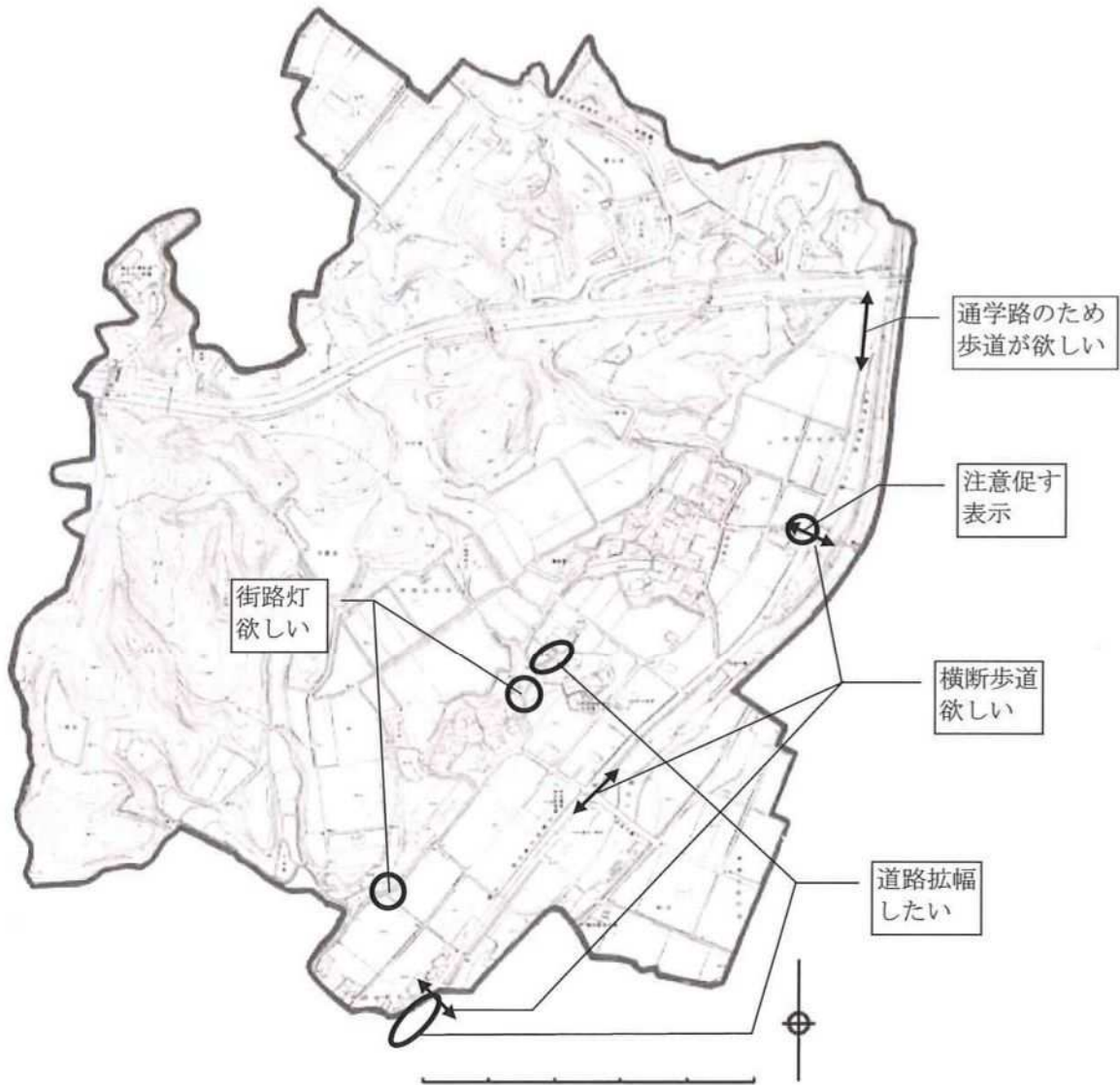
就業の場を創出することにより、後継者の集落外への転出を防ぐことができ、後継者の確保が期待できる。

⑫ 高齢者休憩広場

先祖や神を祭るシキビや榊などを栽培しながら、高齢者が腰掛けてゆっくり会合ができる広場を、休耕田などを活用して設けたい。

⑬ 世代間コミュニケーション

わら細工や竹細工を子供達に教えたり、集落の歴史を伝承する機会を設け、年寄りと子供達の世代間コミュニケーションを図る。



交通安全施設整備，街路灯の整備

4) 土地利用計画

① 農業保全区域

下記以外の区域を農業保全区域に指定し、農業の振興と農地の保全を図る区域とする。

② 環境保全区域

里山を指定し、自然環境の保全および活用を図る区域とする。

③ 集落居住区域

まとまりのある住宅地周辺を集落居住区域に設定し、生活環境を整備する区域とする。

④ 特定用途A区域

神出町南との境界に福祉施設があり、この一団の施設を特定用途A区域に指定する。

⑤ 特定用途B区域

神戸母里線より北側の七曲付近は、既に生コンプラント工場や資材置場などが多数立地しており、これらの既存施設を含めて特定用途B区域を指定する。

新たに資材置場等施設を設置する場合には、周囲に植栽帯を設け、景観や排水など周辺の環境に配慮してもらう。

人と自然との共生ゾーン 土地利用基準（抜粋）

平成12年4月

各農村用途区域における土地利用の用途は、次のような制限になります。

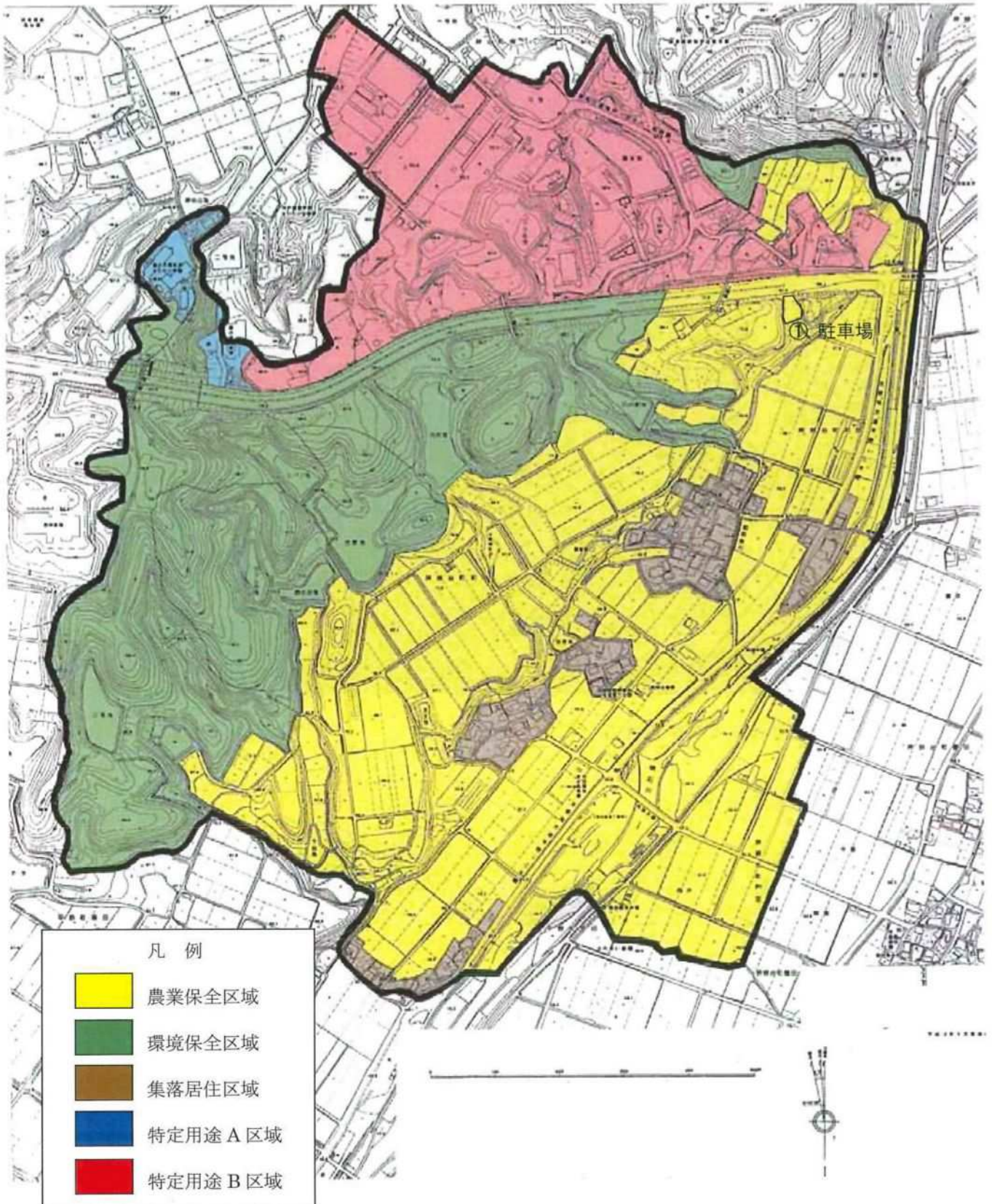
（○－立地可能、△※－条件付きで立地可能、×－立地不可／☆－開発許可(審査)が必要な施設）

施設名称	農村用途区域			特定用途	
	農業保全	集落居住	環境保全	A区域	B区域
温室、育苗施設	○	○	○	○	×
農舎、農産物集出荷施設	△※1	○	○	○	×
農産物貯蔵施設、農機資材置場、農具等収納庫	△※1	○	○	○	○
畜舎	○	×	○	×	×
堆肥舎	○	×	○	×	○
農家住宅、☆分家住宅、☆集会所	△※1	○	○	○	×
☆日常生活関連施設（小売りサービス店舗等）	△※1, 2, 4	○	○	○	×
”（農機具等修理工場）	△※1, 2, 4	△※2, 4	△※2, 4	△※2, 4	○
☆農産物加工施設（500㎡未満）	△※1, 2	△※2	△※2	○	○
”（500㎡以上）	△※1, 3, 4	×	△※3, 4	△※4	△※4
居住者の自己事業用 駐車場・資材置場（1,000㎡未満）	△※1, 2, 4	△※2, 4	△※2, 4	△※2, 4	○
社会福祉施設・医療施設・学校	△※1, 2, 4	△※2, 4	△※2, 4	△※4	×
☆ドライブイン・ガソリンスタンド	△※1, 2, 4	△※2, 4	△※2, 4	△※4	×
駐車場・資材置場・洗車場	△※1, 3, 4	×	△※3, 4	×	△※4
廃車置場	×	×	△※3, 4	×	△※4
土採取場・廃棄物処理場	×	×	△※3, 4	×	△※4
☆運動・レジャー施設（3,000㎡未満）	△※1, 2, 4	△※2, 4	△※2, 4	△※4	×
☆ ”（3,000㎡以上）	△※1, 3, 4	×	△※3, 4	△※4	△※4
公共事業に伴う仮設施設 一時的な資材置場・駐車場	△※1, 2, 4	△※2, 4	△※2, 4	△※2, 4	△※4

〔条件〕

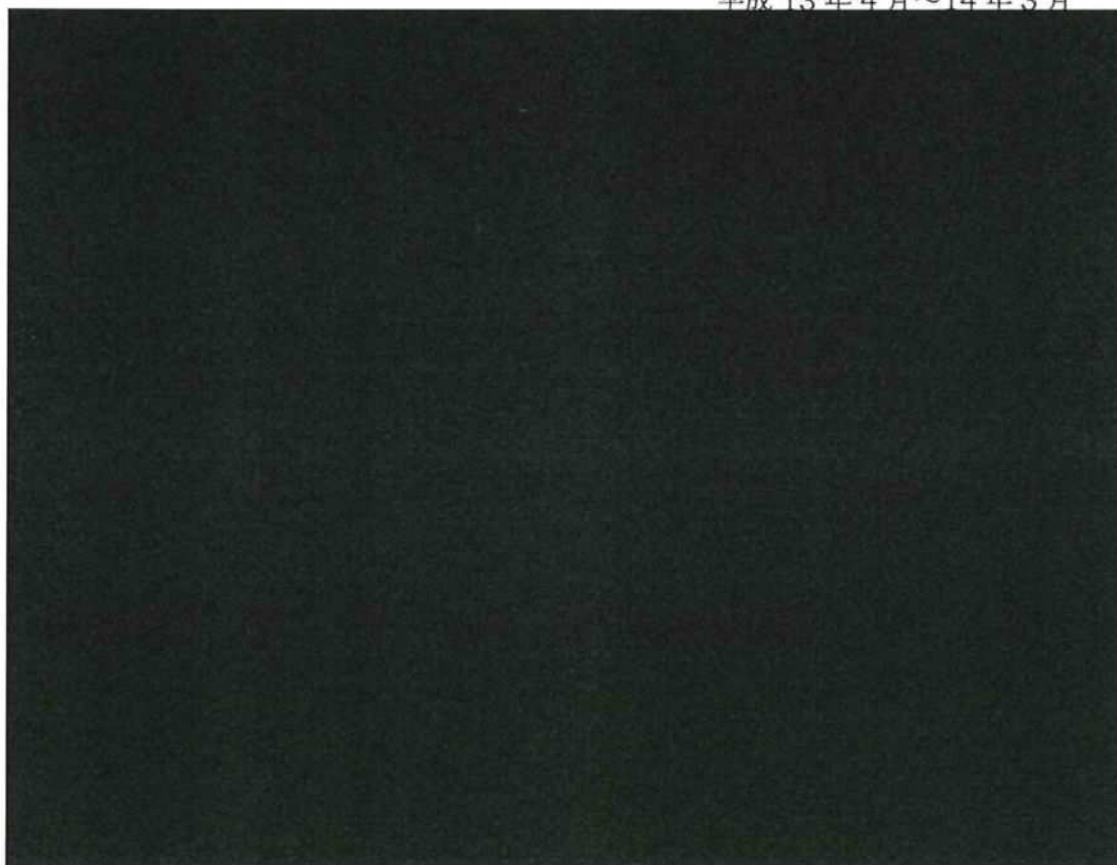
- ※1 当該土地が農地である場合、当該用途区域内外に農地以外の代替の土地がないこと。
- ※2 里づくり協議会の承認が得られること。
- ※3 里づくり計画の中に当該土地利用が位置づけられていること。
- ※4 良好な農村環境及び農村景観の保全等の見地から行う市長との協議が行われること。
 - ① 土地利用が周辺の区域における良好な営農・生活・自然環境の整備・保全・活用及び農村景観の保全・形成に配慮していること。
 - ② 建築物（工作物を含む。）の設置を伴う場合には、建築物の位置・規模・形態が周辺の区域における良好な農村景観の保全・形成に配慮していること。
 - ③ 土地利用を行う区域内に緑地を設けること。
 - ア 緑地は市開発指導要綱の基準を準用し設ける。ただし、緑地の面積はウの割合による。
 - イ 植栽により緑地を設ける場合は、特に道路等の公衆の用に供される場所からの景観等に配慮すること。
 - ウ 緑地の面積は、敷地面積に対し下記に示す割合以上であること。
 - ◆1ha未満 ⇨ 10/100
 - ◆1ha以上 ⇨ 20/100
 - ④ 一時的な土地利用にあっては、利用後の復旧計画が明確であること。

和田土地利用計画図



和田里づくり協議会委員名簿

平成13年4月～14年3月



計画策定指導および作業協力

役 職	氏 名
神戸大学農学部 教授	畑 武志
同 水環境学研究室 研究生	山本 賢太郎
同 水環境学研究室 研究生	遠藤 幸祐
神戸農業改良普及センター 主査	東元 正司

事務局

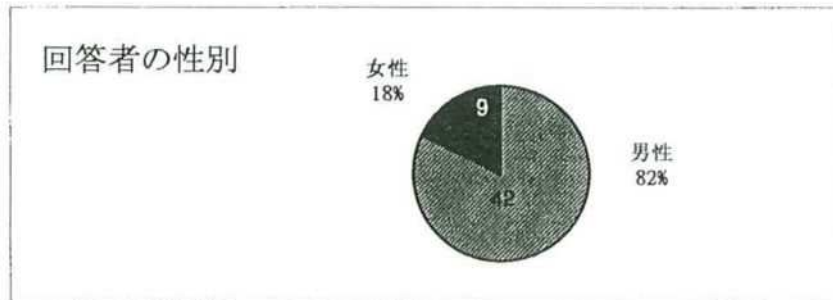
役 職	氏 名
産業振興局西農政事務所 所長	中尾 博行
同 地域整備係長	小田 大治
同 地域整備係	石井 月代

和田里づくりアンケート集計結果表

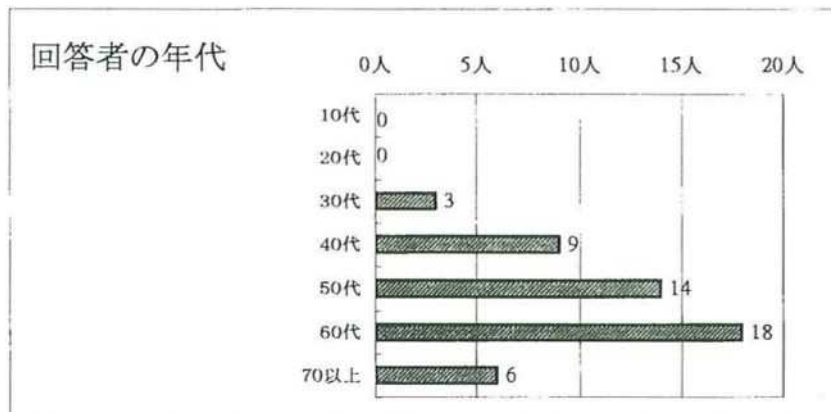
平成13年6月

回答者数 51人

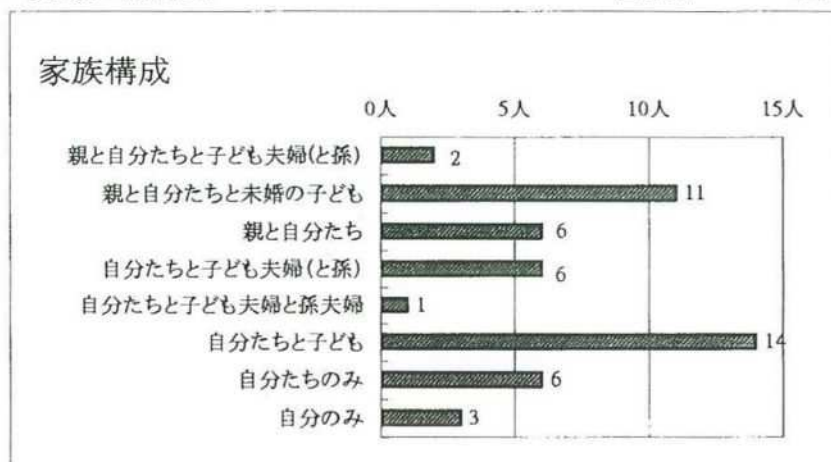
問1 あなたの性別は？ 回答数 51人



問2 あなたの年代は？ 回答数 50人

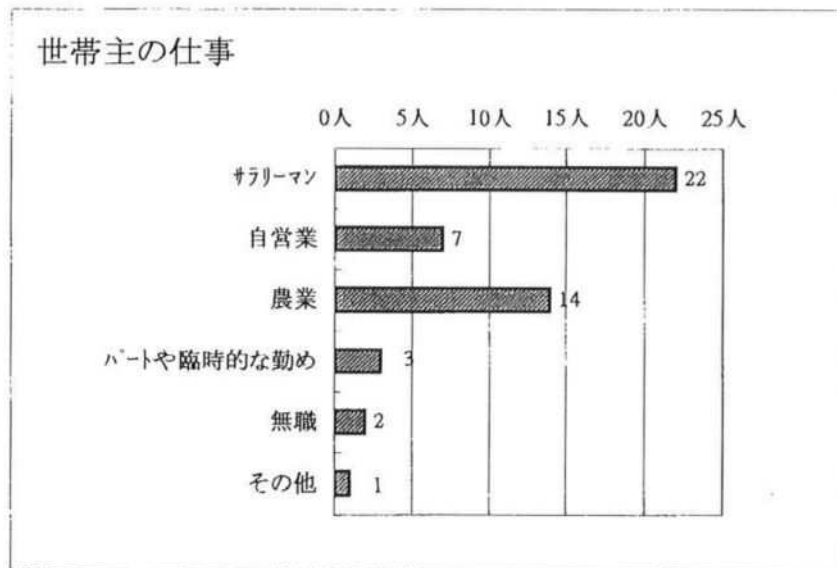


問3 同居している家族の構成は？ 回答数 49人



問4 世帯主の仕事は？

回答数 49人



問5 (1) あなたの所有面積はどのくらいですか

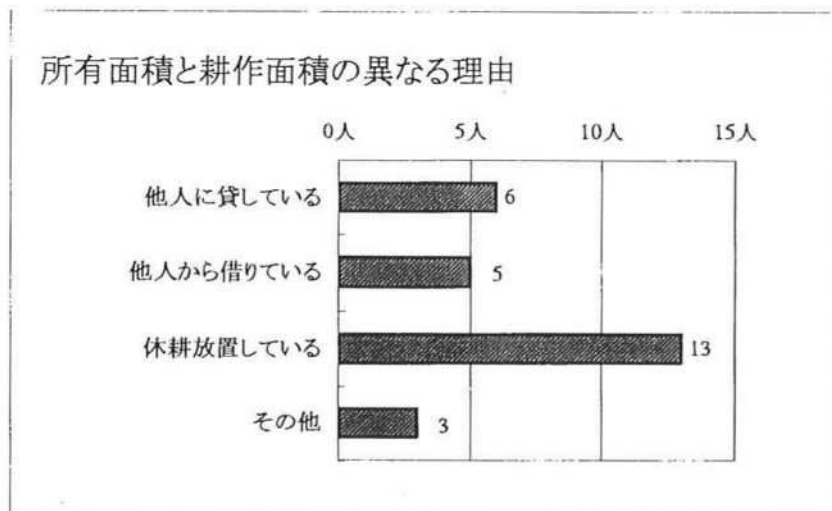
回答数 39人 平均面積 69.6a

(2) あなたの耕作面積はどのくらいですか

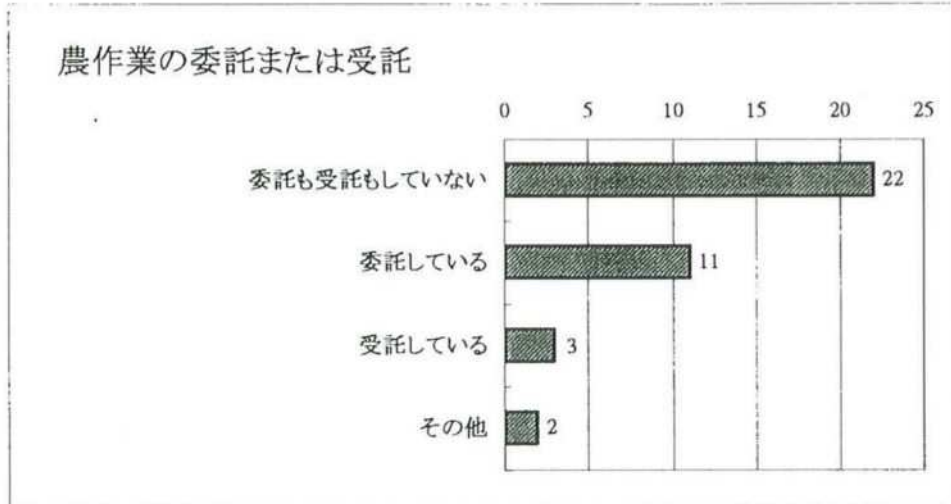
回答数 33人 平均面積 69.3a

(3) 所有面積と耕作面積が異なる場合、理由は何ですか

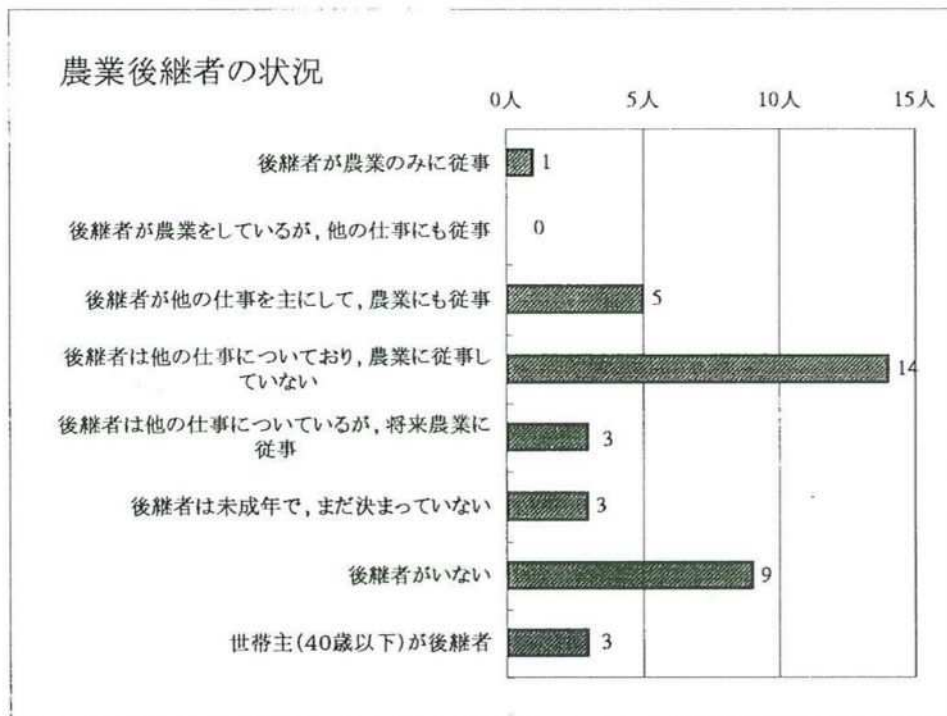
回答数 26人



問6 あなたの世帯では、農作業の一部または全部を委託または受託していますか
 回答数 38人



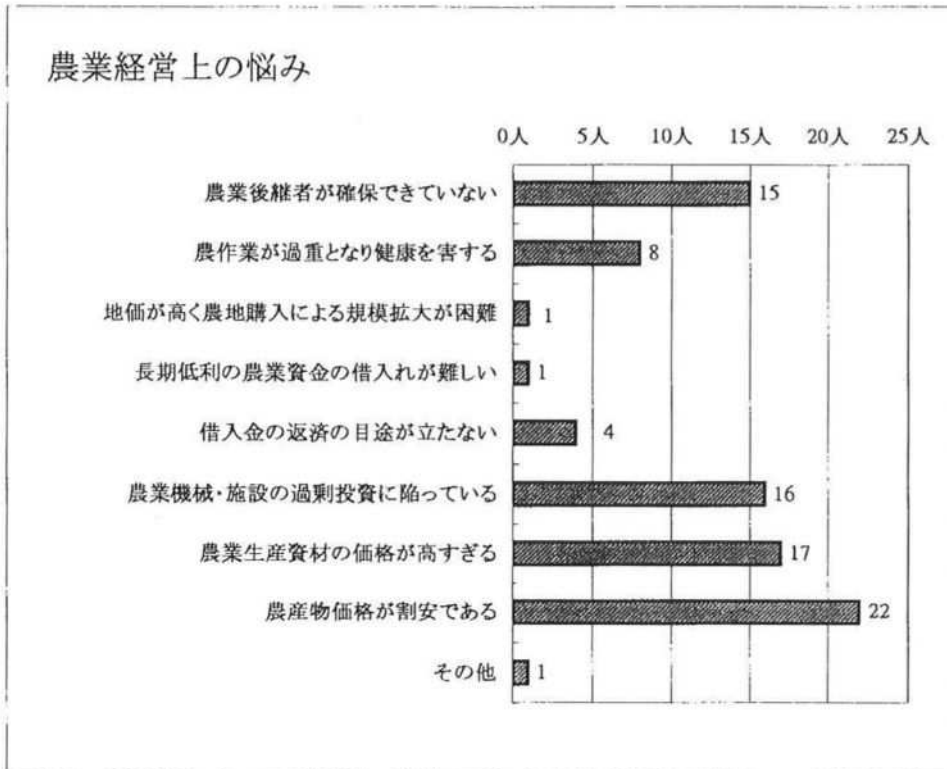
問7 あなたの世帯の農業後継者の状況は？
 回答数 38人



問8 (1) 農業経営上の悩みについて、該当するものすべてを記入してください

該当者

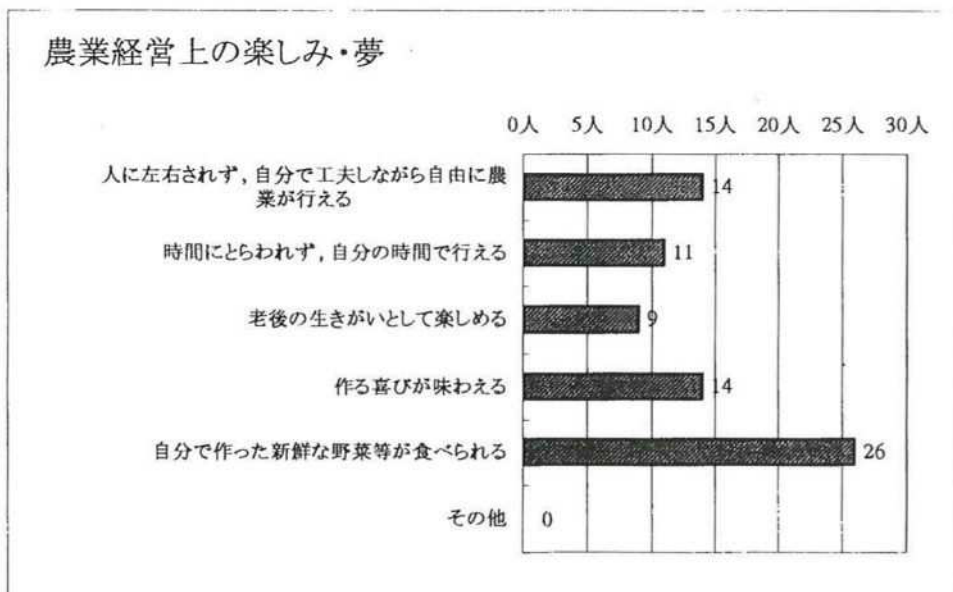
32人



(2) 農業経営上の楽しみ・夢について、該当するものすべてを記入してください

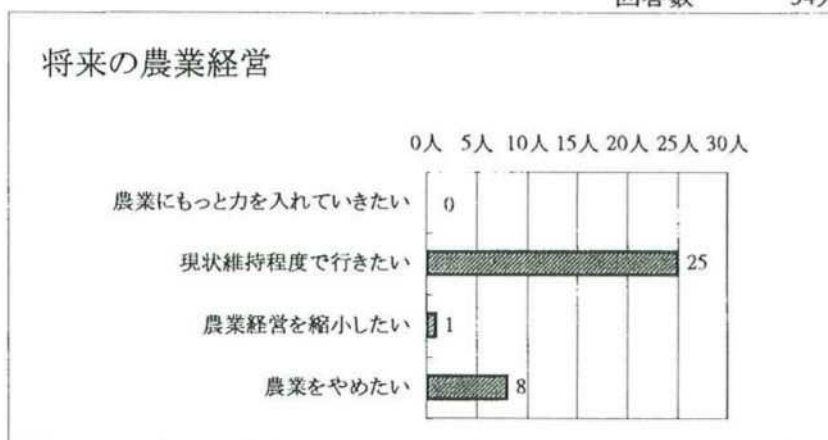
該当者

35人



問9 あなたは将来の農業経営についてどのようにお考えですか

回答数 34人



問10 (1) 力を入れたいと答えた方の方法

方法	該当者
農地を買い経営面積を増やしたい	0人
農地を借り経営面積を増やしたい	0人
農作業を受託したい	0人
施設を増・新設したい	0人
裏作の作付け面積を増やしたい	0人
その他	0人

(2) 力を入れたい部門

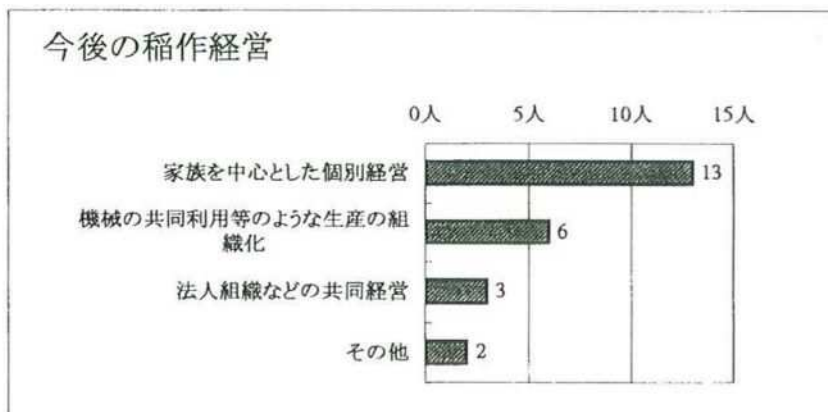
部門	該当者
稲作	0人
露地野菜	0人
施設野菜	0人
果樹	0人
花卉	0人
植木花卉	0人
畜産	0人
観光農業	0人
貸農園	0人
その他	0人

問11 縮小・やめたいと答えた方の方法

方法	回答者
農協等の団体に農作業を委託したい	2人
農用地貸借制度等により専業農家に貸したい	3人
売りたい	1人
その他	1人

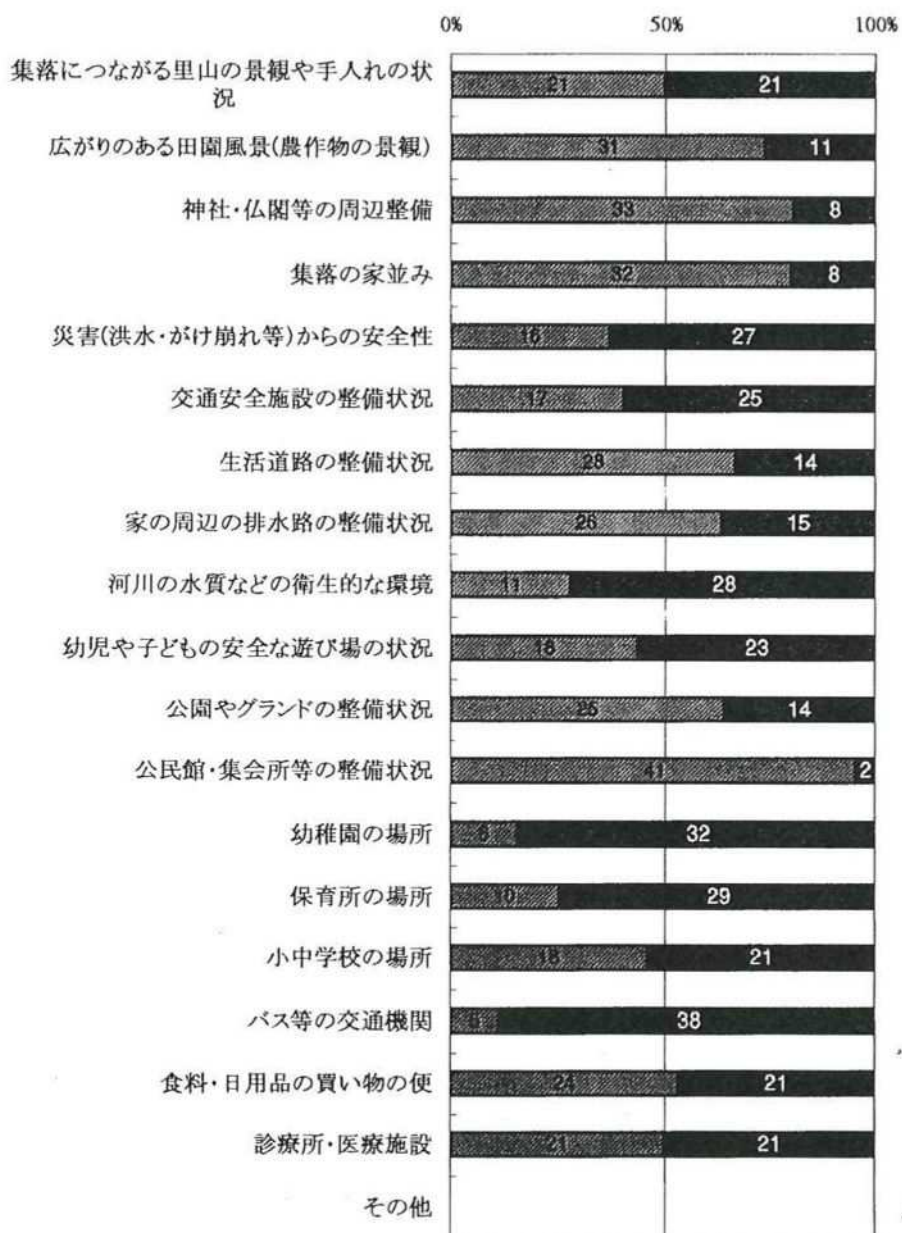
問12 稲作経営は今後どのようにしたいですか

回答数 24人



集落の生活環境について

■満足 ■不満



人

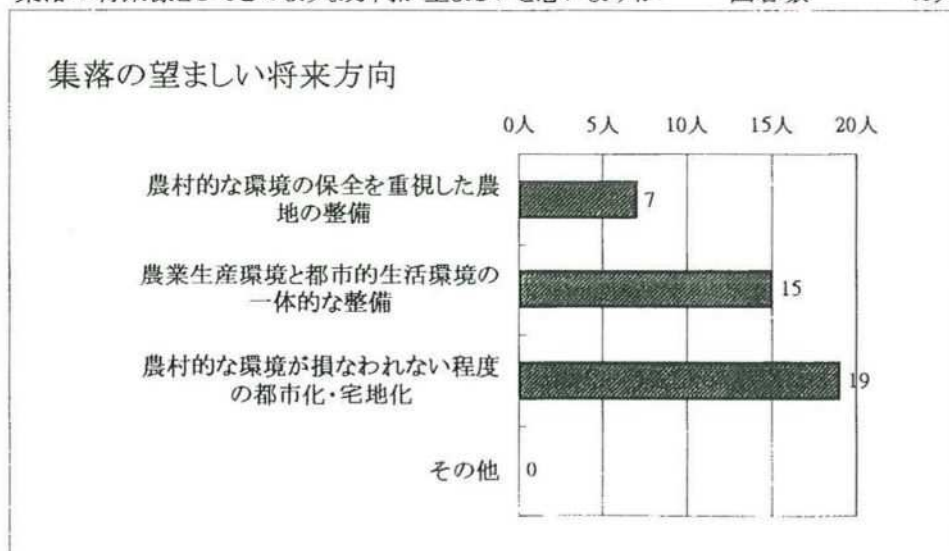
問 14 集落内で保存したいと思われる所(文化財, 自然)や行事(祭りごと等)があれば, その場所名と理由を下欄に記入してください。(例: ○○神社の森, ○○池の周辺の林等)

- ・清水寺と周辺の森・若宮神社の子供すもう・大歳神社の例祭・稲荷神社の祭
- ・観音堂(清水寺)及び敷地, 大歳神社, 若宮神社, 昔より信仰の対象となってきたものなので大切にしたい。
- ・若宮神社(和田上辻)と伝統行事(子供相撲), 白漣山清水寺, 大歳神社
- ・和田と平野町黒田との境界周辺に明石城勘定奉行が支配していた年貢米を保管する倉庫(御蔵米)があった。また, この近くに高和小学校の前身「和田小学校」があった。「跡地」の標識を。
- ・和田大歳神社の保存。和田の中心にあり毎年祭礼をしている
- ・大歳神社, 若宮神社, 清水寺

問 15 集落内で特に改善すべきと考えている所(道路, 排水路等)があれば, その場所名と理由を下欄に記入してください。(例: ○○道路, ○○池周辺の林)

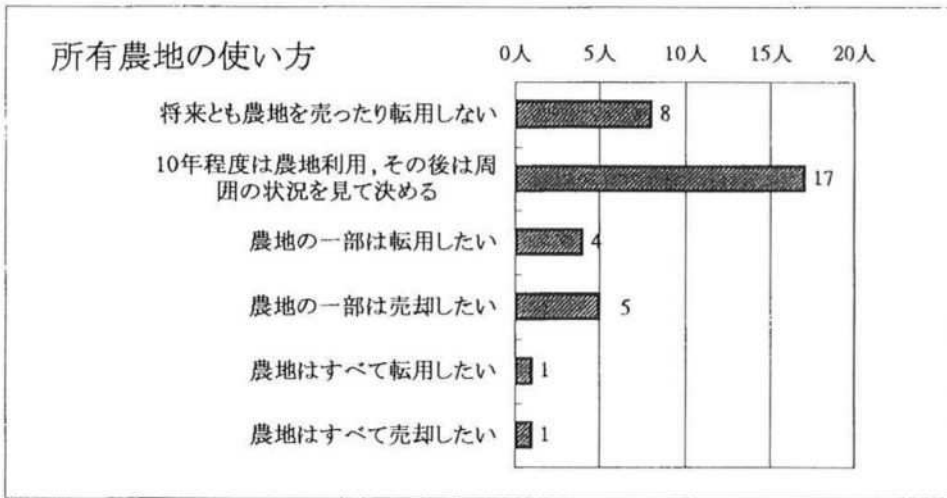
- ・横断歩道待合場所。雨が降ると水がたまり歩きにくい。ため水はけを良くして欲しい
- ・西神中央へのアクセス道路をつくってほしい
- ・学内町, 清水寺の参道と田の管理道路の舗装
- ・観音堂の下に走る農道の整備
- ・藤原橋交差点付近のジュースの空き缶, 弁当箱の不法投棄→信号で止まったときに捨てるのだからその量は大変なもの。何とかならないか。
- ・口の新池に汚水が入り込み, 池の水が腐っている。上部の汚水対策が必要。
- ・谷合池からの排水路, 排水が堤防を越えて田が冠水する。道路, 舗装が不十分である。
- ・荒地の整備, 例えば花, れんげ, コスモスなどを植える。正面にある農地をみんなで管理する。水路の両側が草で汚い。→活用することを考えればきれいになる。街灯を多く。広い深い排水路に水をためて金魚, 鯉を飼えば。

問 16 集落の将来像としてどのような方向が望ましいと思いますか 回答数 41人



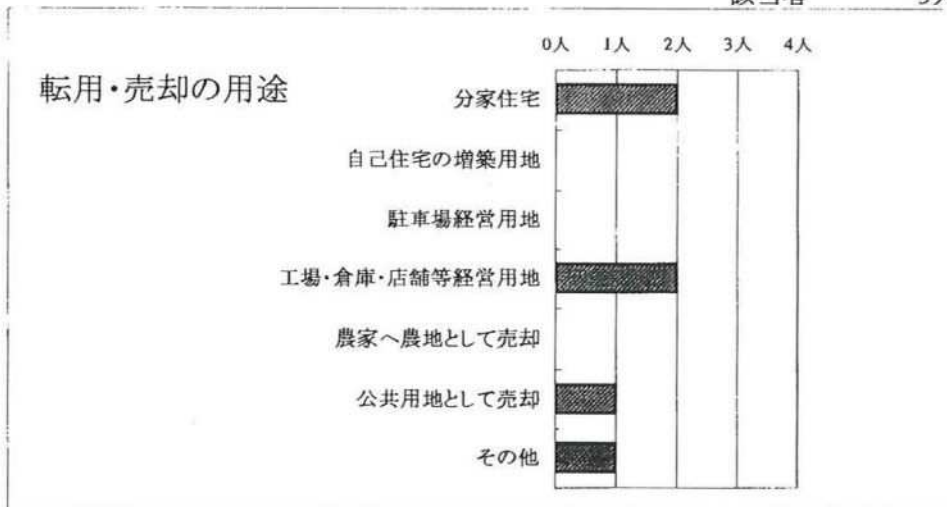
問17 (1) 所有農地は今後どのように使いたいですか

回答数 36人



(2) 転用・売却したいと答えられた方, どのような用途に使いたいですか

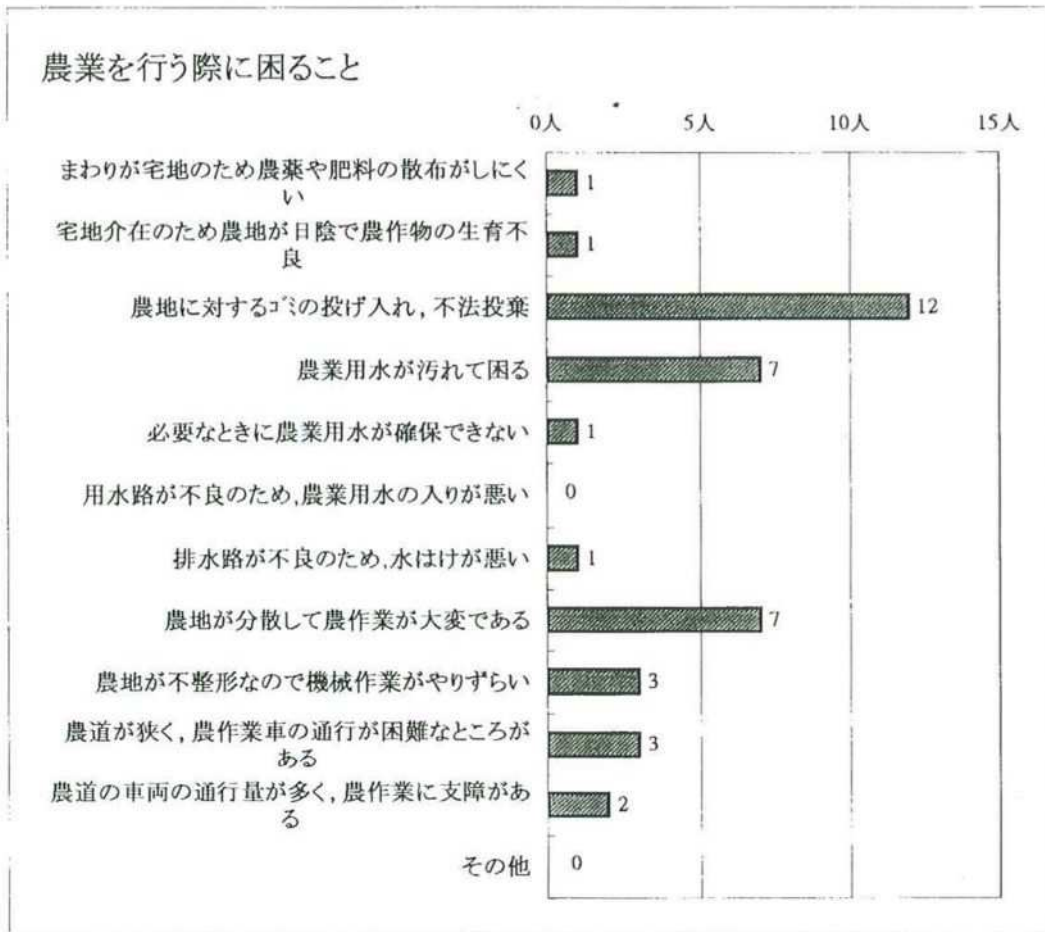
該当者 5人



面積	用途	面積	備考
1.分家住宅	500㎡	—	
4.工場・倉庫・店舗等経営用地	20㎡	—	
6.公共用地として売却	40㎡		
7.その他	300㎡		

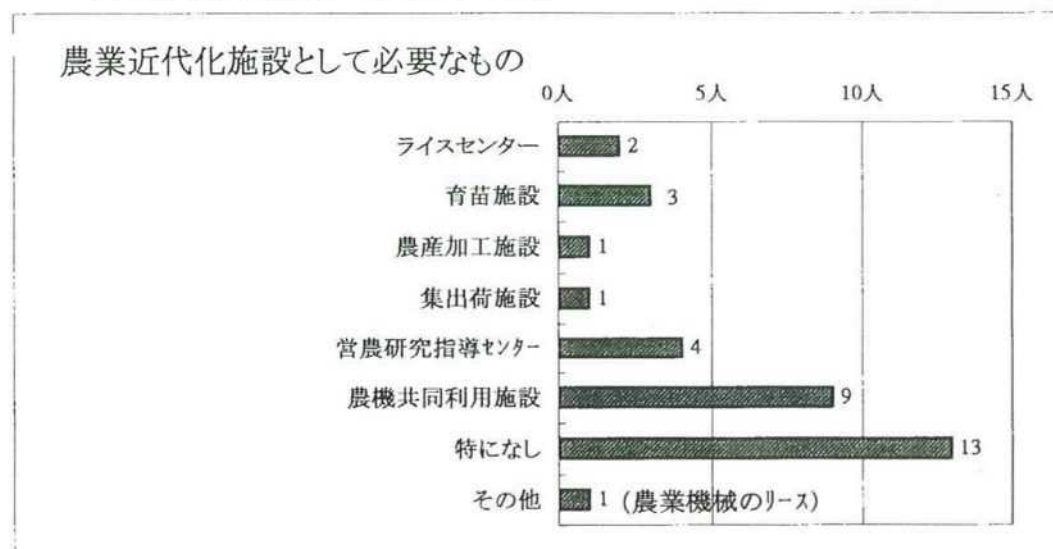
問18 (1) 農業を行う際にどのようなことで困っていますか

該当者 21人



(2) 農業近代化施設として何が必要ですか

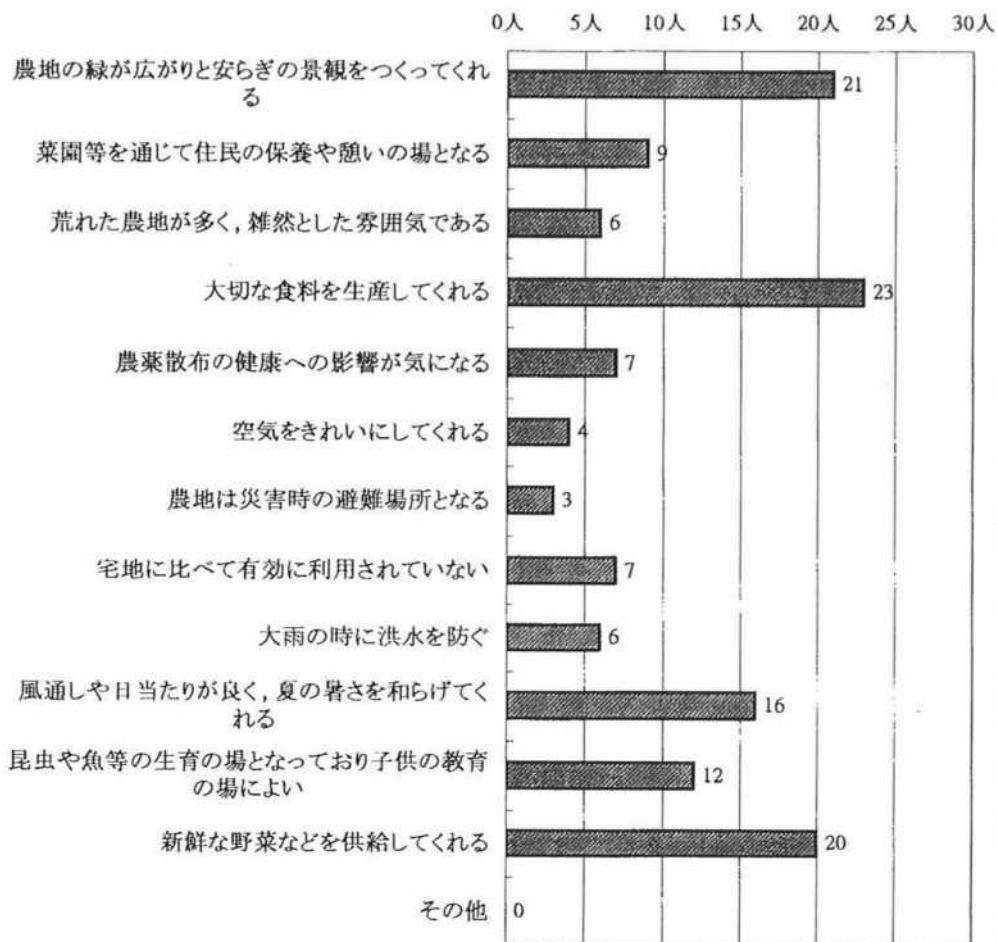
回答者 26人



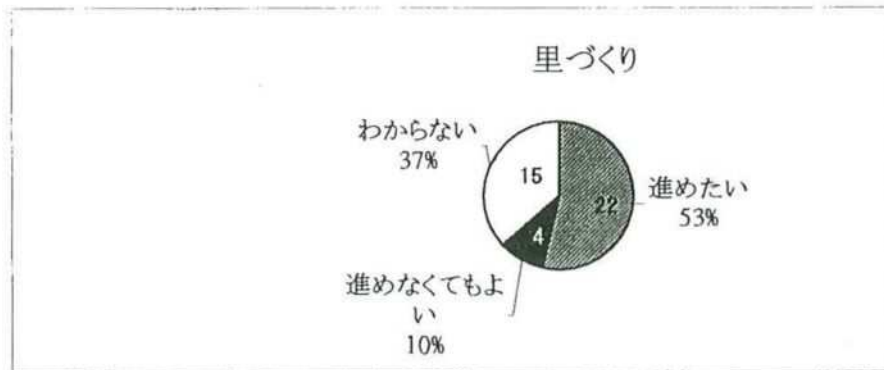
問19 当地区の農地や農業の役割について、日常生活の中でどのように感じていますか
該当するものすべてを記入してください

回答者 37人

当地区の農地や農業の役割



問20 里づくり計画を策定し、進めることについてどう考えますか。 回答者 41人



問21 なにか意見があれば自由にご記入ください。

- ・このアンケートはあくまでも農家を中心とした設問になっているが集落内には非農家もいる。非農家に対する設問があってもよいのではないか。配慮に欠ける。

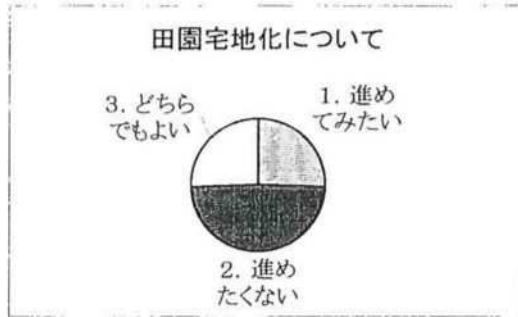
ご協力ありがとうございました

和田里づくりアンケート集計結果表

平成13年8月

回答者数 51人

1. 田園宅地化(市街化調整区域への一般住宅の導入)を、この集落で考えることについてどのように考えますか。(一つ選択)

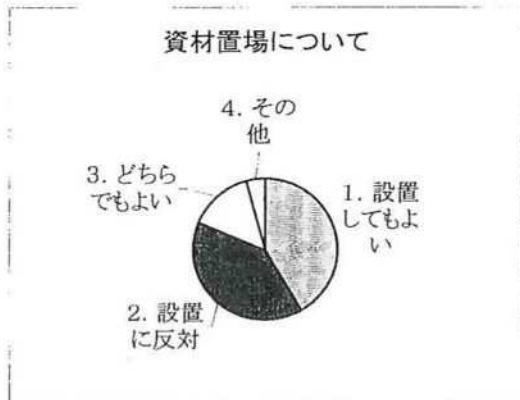


回答者	47人
1. 進めてみたい	12人
2. 進めたくない	23人
3. どちらでもよい	12人

自由意見

- 22. 全地域ということではなく一部分を計画的に美観を損なうことなしにできるなら進めてみたい。
- 24. 現状のままがよい
- 33. 一般住宅が導入されたら従来の農家は畔の草を焼くにも気を使う。農機、農薬散布もしかり
- 35. 一般住宅の導入は自然破壊につながる恐れがある。
- 36. 農業後継者の少ない現在の状況では検討の要がある。
- 41. 新しい住民が増えると地域のまとまりが悪くなると思います。

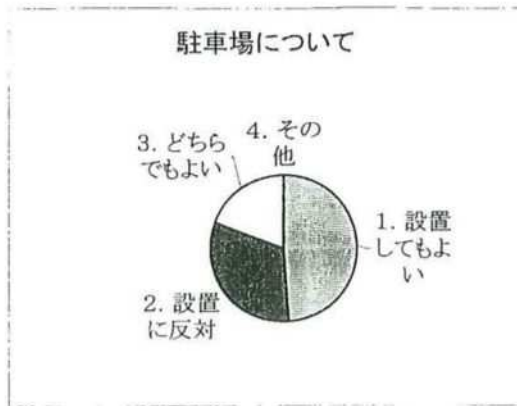
2. 集落内に資材置場、駐車場を新規に設置することについて、どのように考えますか。(一つずつ選択)



回答者	48人
1. 設置してもよい	20人
2. 設置に反対	19人
3. どちらでもよい	7人
4. その他	2人

自由意見

- 5. ゴミが増え、環境悪化!!
- 16. 自己事業用
- 22. 危険性、他の人たちの迷惑とかにならないようであれば良い。
- 36. 借り手が確保できるのであれば検討してよい。



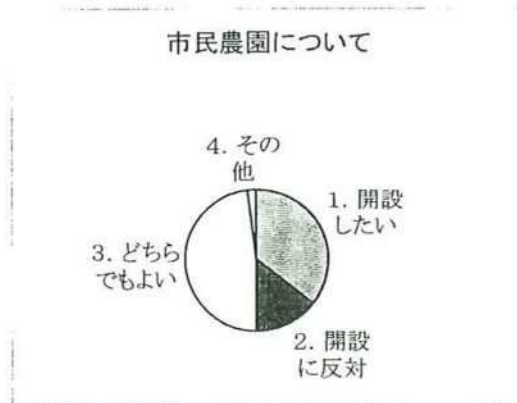
回答者 47人

1. 設置してもよい	23人
2. 設置に反対	15人
3. どちらでもよい	9人
4. その他	0人

自由意見

5. そんなものいらない!!誰が利用しますか?
16. 自己事業用
22. 上に同じ(危険性, 他の人たちの迷惑とかにならないようであれば良い。)
35. 立地条件からいっても一般車の駐車場はむり。大型車の駐車場設置は絶対反対。
36. 将来の里づくりの状況次第等では必要となる。

3. 集落内に, 市民農園, 観光農園を開園し, 都市住民との交流事業を実施することについてどのように考えますか。(一つずつ選択)

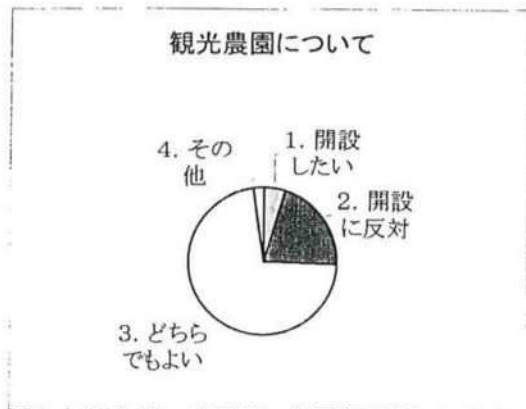


回答者 48人

1. 開設したい	17人
2. 開設に反対	7人
3. どちらでもよい	23人
4. その他	1人

自由意見

28. 市民農園とはどんなもの?
34. 集落のはずれで地域を限定すれば認めてもよい。
35. 地域農家とのトラブルが予想される。
36. 借り手の確保が難しいと考える。



回答者 43人

1. 開設したい	2人	具体的内容・花卉
2. 開設に反対	9人	
3. どちらでもよい	31人	
4. その他	1人	

自由意見

- 34. 同上(集落のはずれで地域を限定すれば認めてもよい。)
- 35. 自然破壊, 俗化につながる。
- 36. 花の咲く草木を植えて客を呼ぶようにしたい。

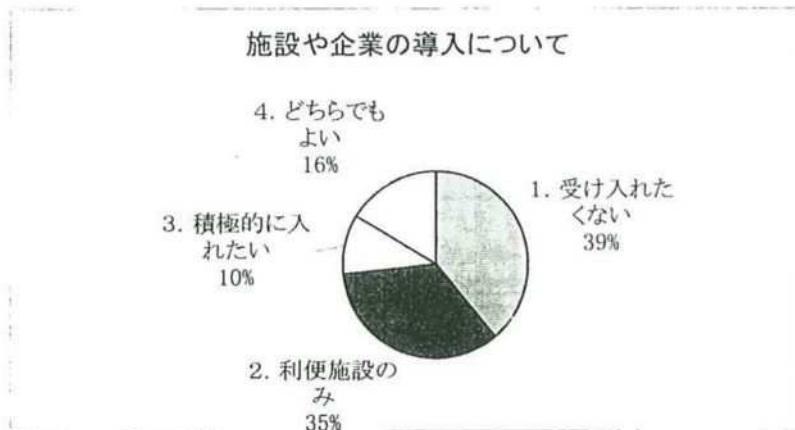
4. 山ノ谷等の荒地の利用について, なにかご提案があれば記入してください。

- 1. 散策路, ウォーキングといった計画もよいと思うが, 管理面のむずかしさ。危険もあるので, 慎重に考えたい。
- 27. 現在神戸母里線の上を通っている里道に通じる里道を拡幅し, 神戸母里線に連絡をつけ, 出入りできるようにすれば山の部分を谷に埋めなどし, 開発できるように働きかけてはいかがでしょうか。
- 33. 利用したいが, 現在でも道があれば夜遅くアベックが来たり, 昼でもビール, ジュースの缶や弁当の空を捨てて帰り, 掃除に困る。
- 35. 人目につく場所なら, コスモス, ヒマワリなど手間のかからない花を植え, 「フラワー・ゾーン」を設けては。(フラワー・ゾーンへの遊歩道を設けるとなおよい)
- 36. 山ノ谷等を大々的に利用して花卉を植え, 観光農園に開発する。
- 37. 利用される方があればまとめて利用してほしい。

5. 集落内に施設や企業を導入することについて、どのように考えますか。(一つ選択)
(ただし、市街化調整区域で建設できる施設に限ります。)

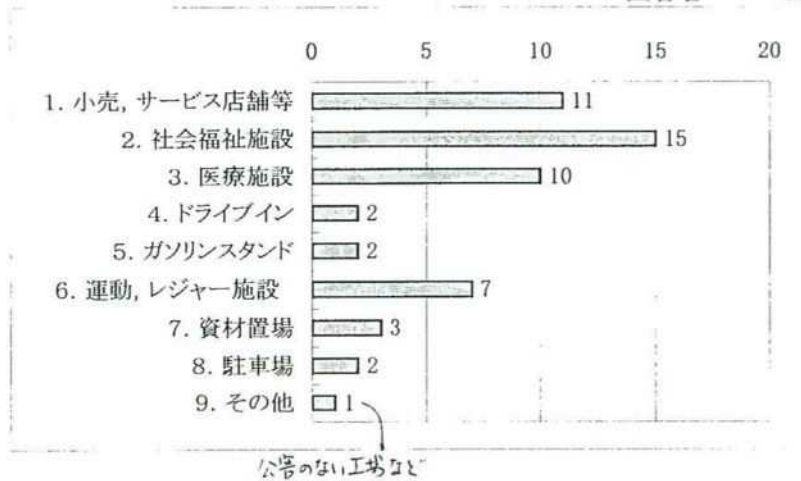
回答者 49人

1. 静かな環境を守るため、施設や企業はできる限り受け入れたくない。	19人
2. 大規模な施設や企業による開発は受け入れたくないが、日常生活の利便のための施設は受け入れたい。	17人
3. 不動産収入を得たり、就業の機会を増やすため、施設や企業を積極的に入れたい。	5人
4. どちらでもよい。	8人



上の問で、2. 3. 受け入れたいと答えられた方のみお答えください。
受け入れたい施設に○印を付けてください。(いくつでも)

回答者 22人

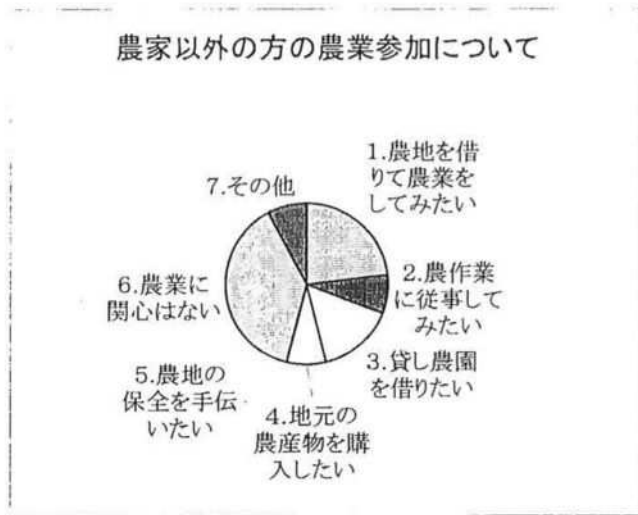


自由記入

27. 専業農家が減少する一方で、農業に従事する人の高齢化も目立ちます。
近い将来荒地が目立つ様になるのは考えものです。
土地の有効利用を心して考えていくべき時ではないでしょうか？
35. 七曲の周辺に施設、企業が入っているが汚水の池への流入、悪臭などの公害が発生している。
36. 芝張りコースのグランドゴルフ場、ゲートボール場を造成してはどうかと考える。

6. 集落内の農家でない方の農業参加について、どのように考えますか。
該当するものに○をしてください。(複数可)

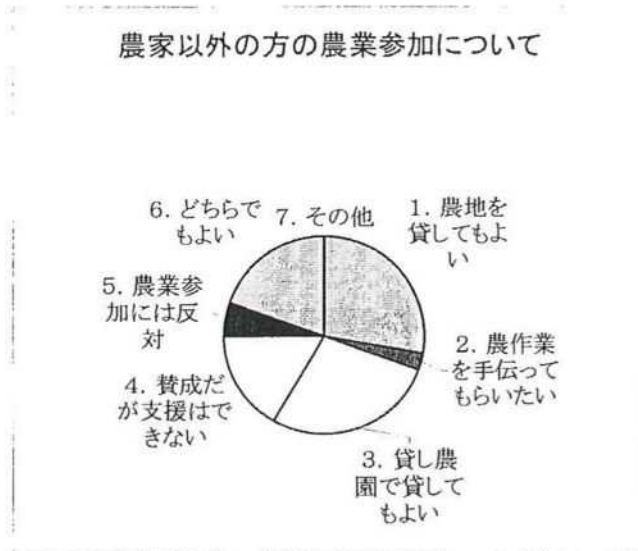
農家以外の方



回答者 12人

1.農地を借りて農業をしてみたい	3人
2.農作業に従事してみたい	1人
3.貸し農園を借りたい	2人
4.地元の農産物を購入したい	1人
5.農地の保全を手伝いたい	0人
6.農業に関心はない	5人
7.その他	1人

農家の方



回答者 33人

1.農地を貸してもよい	10人
2.農作業を手伝ってもらいたい	1人
3.貸し農園で貸してもよい	10人
4.賛成だが支援はできない	6人
5.農業参加には反対	2人
6.どちらでもよい	7人
7.その他	0人

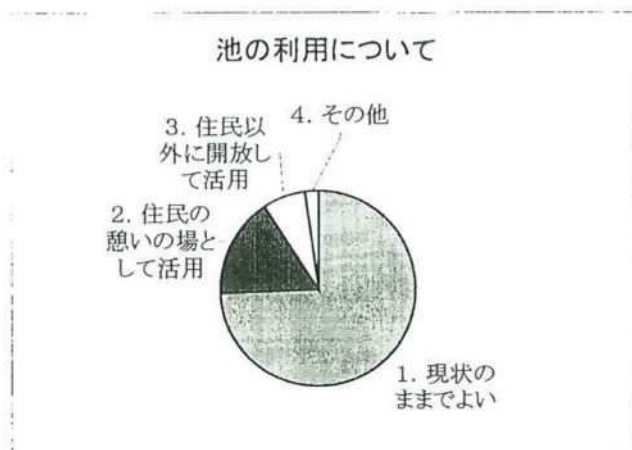
自由意見

36. 農業参加に賛成であるが、保有田の関係から支援はできかねる。

7. 集落内の池の利用について、どのようにしたいと考えますか。(一つ選択)

回答者 43人

1. 現状のままでよい	32人
2. 住民の憩いの場として活用	7人
3. 住民以外に開放して活用	3人
4. その他	1人

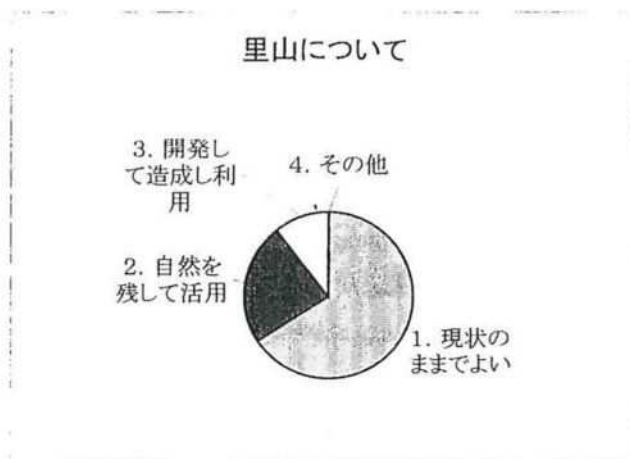


具体的提案

1. 釣り堀等
5. 安全対策
16. 釣り人のゴミの不始末, 車の駐車のマナーの悪さ, 釣り人が来なければ一番いい
18. レジャー施設
21. 公園施設等
32. つりぼり
35. ①地域内でジョギングをする人たちが増えていることから, 遊歩道を整備しては…
②釣り人のマナーの悪さ, 池のヒを抜くという悪質なイタズラも発生している。
釣りに規制を加える必要があるのでは…
36. 可能であれば有料釣り池として活用したい。
38. 安全で休憩のできる場づくり

8. 集落の里山について、どのようにしたいと考えますか。(一つ選択)

回答者	47人
1. 現状のままでよい	31人
2. 自然を残して活用	11人
3. 開発して造成し利用	5人
4. その他	0人



具体的提案

- 16. 昔のように手入れができれば一番いいのですが
- 18. 運動レジャー施設
- 21. 公園
- 22. 里山とはどの範囲までの事をいうのか、それによって違う
- 28. 遊歩道を整備
- 35. どのような開発でも自然保護が大前提
- 36. グランドゴルフ場, ゲートボール場として利用したい。
老人ホームを建設する。
- 38. 子ども達が小動物とのふれあいの場となるように

9. その他に里づくりに関して何かご提案があれば、お書きください。
- 18. 部落民が老いても元気に働ける施設がほしい。
 - 23. 役所のための里づくりでなく本当の住民の里づくりでありたい。住民個々の意見が必要
10年かかってもよい。後のために
 - 35. 地域内の旧史跡の整備
 - ・和田小学校(高和小の前身)
 - ・和田御米蔵跡(通称お蔵)
 - ・白滝山清水寺(通称観音さん)
 - ・七曲り周辺の古墳など標識, 説明板をたてる。
 - 36.1. 集落内に都市ガスの引込み工事をして, 各家庭に都市ガスの供給をする。
 - 2. 各家庭に通じる道路と, 排水溝ののり面を整備し美化を図る。
 - 3. 横断歩道の整備を図る。
 - 37. 農業のできる人に委託したい。
JA, 西農政が中心になって農業の後継者の育成に務め, 農業で生計のできる人材を育て安心して田畑を委託できるようにしてほしい。
 - 51. 社会福祉施設, レジャー施設 etc.